

「授業調査」に関する教員アンケート報告

総合教育研究室 谷田 薫

1. 始めに

近年、各大学では大学改革の進展にともなって、授業計画の公表や授業改善等の取り組みが組織的な形で進められています。本学でも2005年度に教務部による統一形式の授業調査が実施されました。

総合教育研究室の高等教育研究プロジェクトでは、大学教育に関する諸問題について研究を続けてきました。「授業に関する調査」については1992年度からテーマとして取り上げ、その実施と参加された先生方へその結果の妥当性と活用に関するアンケートを実施してきました。しかし本研究の性質上、ご協力を頂いている先生方は、「学生の意見に妥当性を認める」方に偏る結果となっていました。一方2005年度の統一形式ではほぼ全ての授業担当者について同じ条件で調査が実施されました。この機会に「学生による授業評価」の妥当性と活用の有用性、並びにFD諸活動への要望や、教育活動に対する意見を集めるためにアンケートを実施しました。非常勤を含む1,389名の方のうち約32%にあたる451名の方からご返事をいただきました。以下にこれらの結果をご報告し、最後に来年度からの「FDの義務化」についての話題にふれたいと思います。

2. 方法

調査票（巻末に付録として添付）は、2006年度秋学期の授業担当者リストを元に、専任教員524人、非常勤講師874人、計1,398人に2007年3月9日に送付、締切りを3月23日（金）としました。すでに退職した方や、非該当で戻ってきた結果、対象は、専任521人、非専任868人の1,389人となりました。3月末日までに451（32.5%）票の回答が得られました。451の回答の内訳は、専任181、非

常勤265であり、この時点での回収率はそれぞれ34.7%と30.5%で専任の方の回収率が高い結果となりました。

送付の対象については、2006年度秋学期の学部の授業担当者、また複数担当の講義に関しては基本的に代表者に送付するようにしましたが、人事リストでは担当授業に関するデータが入っておらず、教務リストでは住所データが得られず、両データは学内のシステム上独立であるという事で送付の都合上人事データを利用することになりました。そのため、学部の授業を担当していないと回答されたものが38、学部担当科目のあるなしに回答のなかった3票の計41票をのぞいた410票をこの報告の分析の対象とします。しかし、最後の「問10. 本学での教育活動を通してご意見、ご感想等があればお書き下さい。」へ記述のあったものに関しては、すべて巻末の付録へ収録させていただきました。

3. 結果について

1) 回答者の属性

回答者の属性は、男性286（69.8%）、女性（30.0%）、不明1（0.2%）と男女比は7:3であった。年齢と教育歴の構成を示したものが図1です。年齢構成では40代が121名（29.7%）と一番多く、

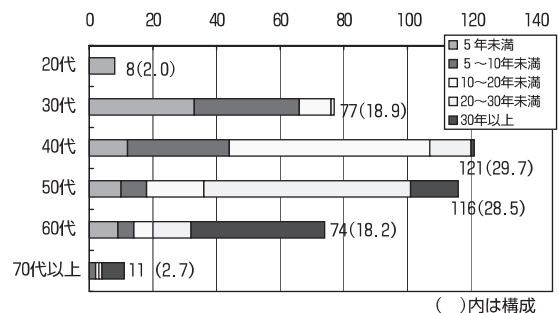


図1. 年齢構成と教育歴

次いで50代が116名（28.5%）、30代77名（18.9%）となりました。これを文部科学省の全国の「本務教員の年齢構成」のデータと比較すると、全国データでも、40代が28.7%と一番高く、次いで50代の26.4%、30代の24.5%となっているので、本調査の回答も全国平均とほぼ一致する構成比となっていました。回答者を勤務形態による比率を見ると専任161名（39.3%）、非常勤245名（59.8%）で、対象者比率が37.5%対62.5%に比べると専任教員の割合がやや高い結果となりました。回答者の研究分野別構成比を示したものが図2です。

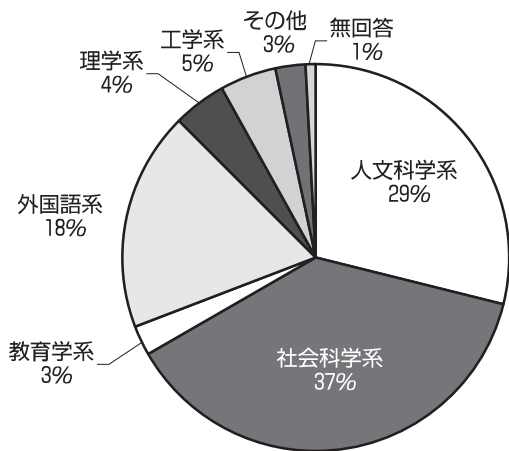


図2. 回答者の研究分野別構成比

本学の学部で週あたりに担当しているコマ数をたずねたところ、専任教員で平均4.8コマ、非常勤教員で平均2.3コマとなりました。ここで気になるのは、専任教員で最小は1コマ、最大が14コマと教員によって教育負担が大きく異なっている点でした。

2) 2005年度の調査への参加とその信頼性

「2005年度の統一調査へ参加した」と回答した教員は263名と全体の64.1%でした。以下は、2005年度の一斉調査に参加された教員の中で、これらの結果の信頼性と納得度について回答を寄せられた258名についての集計結果です。「問2.1. 質問項目の結果は納得できるものでしたか」という問いに対しては、「納得できない」が2（0.8%）、「あまり納得できない」が16（6.2%）、「どちらとも言えない」43（16.7%）、「まあ納得できる」が135（52.3%）、「納得できる」が62（24.0%）となり、約76%が「納得できる」と回答しておられました。

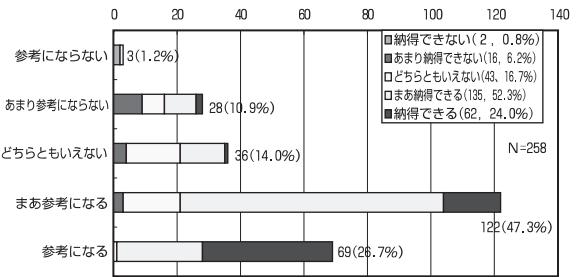


図3. 質問項目への納得度と参考度

一方「問2.3. 質問項目の結果は次学期の参考になるものでしたか?」という問いに対しては、「参考にならない」3（1.2%）、「あまり参考にならない」28（10.9%）、「どちらとも言えない」36（14.0%）、「まあ参考になる」122（47.3%）、「参考になる」69（26.7%）と、ポジティブな結果が74.0%と参考度に関してもほぼ納得度と同様の結果が得られました。この二つをクロスしたものが図3です。これをみると納得できるが、「あまり参考にならない」という回答もあり、納得度と参考度にはズレが見られました。一方自由記述では、「納得できない」1（0.4%）、「あまり納得できない」21（8.1%）、「どちらとも言えない」46（17.8%）、「まあ納得できる」131（50.8%）、「納得できる」59（22.9%）でポジティブな回答が73.7%と質問項目の参考度に比べてやや低い結果となりました。また、「参考度」に関しては、「参考にならない」3（1.2%）、「あまり参考にならない」16（6.2%）、「どちらとも言えない」34（13.2%）、「まあ参考になる」133（51.6%）、「参考になる」72（27.9%）とで、ポジティブな回答は79.5%と「納得度」と比べて高い結果となりました。これらのクロスを示したのが図4です。これをみると、「納得できる」という回答をした者で「どちらとも」や「あまり参考にならない」と回答した者は無く、自由記述に関しては「納得度」と「参考度」のぶ

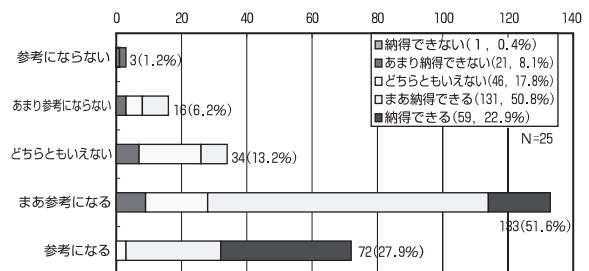


図4. 自由記述への納得度と参考度

これは質問項目についての回答のぶれより小さいようでした。

3) 2006年度の授業実施にあたって注意した点

問2.5は、「一斉調査の結果から、2006年度の授業を行うにあたって意識された点がありましたらお書き下さい。」というオープンアンサー形式の質問でした。この質問に関して記述のあったのは126 (47.9%) で、これらの記述については、巻末にすべて記載しています。この内容を分類すると、「板書」に関する記述が36と一番多く、「丁寧に書く」「書く量やスピードに注意」などといった内容が見られました。次いで多かったのが「内容や方法を変えた」というもので、「学生の興味を引くようなテキストに変えた」「レベルを低くした」「難易度の高いところを省略した」などという内容が見られました。また、「話し方に気をつけた」「配付資料やパワーポイントの工夫」がそれぞれ13ありました。「学生の反応や理解度に気を配る」という記述が12件見られた他にも、「悪く評価されないように、学生の嗜好に合わせてしまう」というやや気になる記述も見うけられました。

4) 公開に対する関心

2005年度の結果については、学内のパブリックホルダーに全体の平均、学部ごとの平均、科目属性ごとの平均などについて学内教職員・学生に公開されています。問2.6ではこのウェブページにアクセスしたことがあるかをたずねました。結果にアクセスしたという回答は38 (14.4%) と大変低い結果となりました。しかし、これらの結果を閲覧することは個々の授業担当者にとっては直接授業の取り組みに役に立つものとはなっていません。このような意味でも公開の内容と方法については、全学的にもう少し論議する必要があると言えましょう。

5) 2006年度の実施状況

問3は、2006年度の担当科目について「学生による授業評価」を実施したかについてたずねたものです。この結果示したものが図5です。担当された授業について、「1. すべての科目で実施した」が201と約半数、「2. 科目を選んで実施し

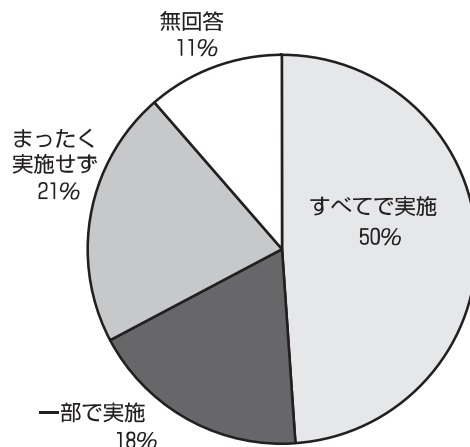


図5. 2006年度の実施状況

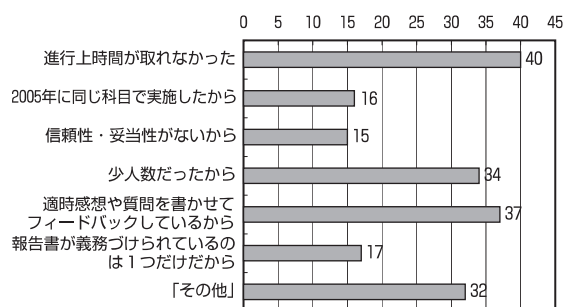


図6. 2006年度実施しなかった理由

た」が75とあわせて約68%が部分的にでも実施したことになります。次に「3. まったく実施せず」87、「無回答」47で合わせて約32%となっています。

実施しなかった理由

さらに問4では、問3で“2”または“3”と回答された方に「実施しなかった理由（複数選択可）」について訊ねました。該当者162名の内、無回答9票を除いた153名の回答191についての結果を図6に示します。これをみると「進行上時間がとれなかった」という回答が回答者の26.1%と一番多く、「信頼性・妥当性がない」という積極的な否定は15と約10%でした。また「報告が義務づけられているのは1科目だけだから」という、「義務だから1科目は行った」ととれる回答が17、約11%みられました。「2005年度に同じ科目で実施したから」16 (11%)、「少人数だったから」34 (22%) については担当者の積極的な判断であると言えましょう。また、「適時感想や質問を書かせてフィードバックしているから」という「授業調査」の一形式ととれる回答も34、

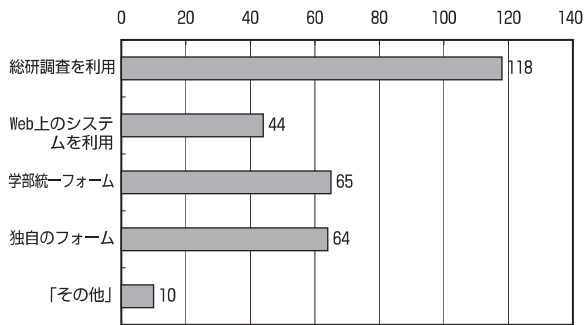


図7. 2006年度授業調査実施の方法

(22%) だった。また、「その他」の32の中で具体的な記述があったもののうち12の回答が「独自の形式」あるいは「自由記述だけ書かせた」というもので、実質的には何らかの手段で学生の意見を集めている様子が見られました。

実施の方法

問5では、問3で「少なくとも一部では実施した」と回答された方へ、実施の方法についてたずねたものです（複数選択可）。該当者276名の内、無回答14を除いた182名の301回答の結果を図7に示します。これを見ると「総合教育研究室の調査を利用」が118、約44%と一番多くついで、「学部統一フォーム」65、「独自のフォーム」の利用がそれぞれ65と64で約24%となり、「Webのシステムを利用」は44で約17%となりました。これらの結果を2002年度に実施した同様な教員アンケートの結果（谷田，2003）と比較すると、2002年度の結果が「総研調査」42%、「学部統一フォーム」9%、「独自フォーム」37%、「Web」16%であり、「総研」「Web」についてはほとんど変化が見られないが「学部」「独自」間で移動が見られるようである。

2005年度との比較

問6では、「2005年度の結果と比べて今年度の結果はどうでしたか」とたずねました。2005年度調査に参加したと回答した263名と、2006年度の授業で調査をしたと回答した276名の中で対象になったのは、196名であり182の回答が寄せられました。この質問もオープンアンサーであったので、「改善された」「よくなった」「指摘されていた点が見られなくなった（減少した）」などのプラスの記述を「プラス」、「同じ」「ほぼ同じ」などを「変化無し」、「悪くなった」等の記述を「マイナス」、「前

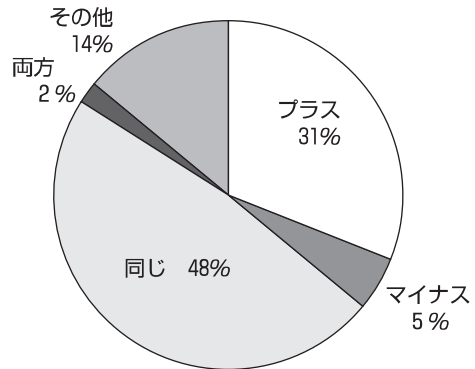


図8. 2005年度との比較

回の点は改善されたが他の問題も出てきた」というような記述を「両方」、どちらか判断できない者を「その他」へ分類した結果を示したものが図8です。約半数が2005年度結果と比較して「変化無し」と答えており、「マイナス」回答も5%見られます。さて、さらにこれらの中で、「問2.5. 2006年度授業実施にあたって意識された点がありましたらお書き下さい」の質問に具体的な記入のあった126名の内、この問6への記入もあった108ケースについて見ると、「プラス」が38で35.2%、「同じ」が同様に35.2%、「マイナス」が3.7%という結果になります。

7) 学生への自主学習への指示

問7では、「担当の科目について、予習・復習の仕方について何らかの具体的な指示をされていますか」とたずねました。これに対して「はい」という回答が227 (55.4%)、「いいえ」という回答が132 (32.2%)、無回答が51 (12.4%) ありました。また指示をしていると回答された方の内221名が具体的な内容について記述をされています。これらのすべてを巻末に添付しました。

8) FD 諸活動の必要度

問8と問9では、各種FD活動の必要度と参加したいセミナー、研究会のテーマについてたずねました。各種FD活動の必要についての結果を示したものが図9です。この中では「ユニークな授業をされている方の事例紹介」については、全体(410)の82%の方が「是非必要」あるいは「あった方がよい」と回答しています。ついで要望度が高いのが「授業方法に関するワークショップ」で68%、約7割が要望しています。つづいて「教員

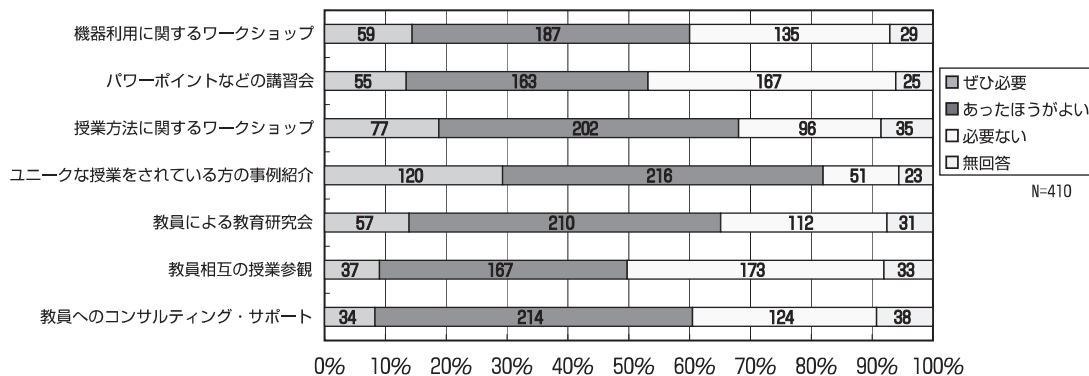


図9. 各種FD活動の必要性

表1. 希望するセミナー研究会

	回答数	ケースのパーセント
講義方法	157	38.3%
討論の技法	101	24.6%
成績評価の仕方	73	17.8%
テスト問題の作成	47	11.5%
卒業論文の指導	36	8.8%
学生指導の方法	99	24.1%
教員と学生の関係	60	14.6%
ハラスメント研修	24	5.9%
TAとの関係	16	3.9%
大学・高等教育論	53	12.9%
その他	11	2.7%
合計	677	165.1%

による教育研究会」65%、「機器に関するワークショップ」「教員へのコンサルティング・サポート」が同じくそれぞれ約60%、「教員相互の授業参観」に関しては約半数という結果になりました。

表1は、「問9. 出席したいセミナーや研究会のテーマを選択して下さい（複数選択可）」の結果を示しています。これをみると、「大学・高等教育論」といった理論系への関心は低く、一方「講義方法」「討論の技法」「成績評価」「テスト問題作成」「卒論指導」など教員が日常的に行っている活動についての具体的な方法について多くの授業担当者が情報を求めていると言えます。また、「学生指導」「学生・TAとの関係」「ハラスメント」といった人間関係に関するテーマについても約半数の教員が関心を示しています。また、その他(11)の中で具体的な記述があったものには、「ADHD（多動）やアスペルガーなどの障害を持った学生への対応方法」、「学力及び意欲レベル分散への対応」、「高校での学習内容」、「国際交流エコロジー問題、社会のモラル低下問題」という要望がありました。

9) 本学での教育に関する意見・感想

最後の「問10. 本学での教育活動を通してご意見、ご感想等があればお書き下さい」というオープンアンサーについては、143名（約32%）、アンケートに回答した3人に1人の方から総数約15,000字に及ぶ様々な意見が寄せられました。これらについては最後にすべて掲載させて頂きました。

これらの意見を要約すると、授業評価についてのご意見・ご感想、学生の態度や学習レディネスに関する記述、クラスサイズやカリキュラムといった制度の問題、施設・設備といったハード面への要望などがありました。是非、学内の担当者の方に読んで頂いてこれらのご期待に答えて頂きたいと希望いたします。

4. 最後に—自律的なFDを目指して—

すでにご存じの方も多いと思いますが、この2008年度から学部教育におけるFDが義務化されました。しかし、「義務化」の具体的内容に対する疑問をお持ちの方もいます。

この義務化の経緯を説明するために1991年の大学審議会の答申（「大学教育の改善について」）以降の学士課程教育に関する主な答申の経緯を表2にまとめました。1991年答申では、大学設置基準の大綱化によってほとんどの国立大学で教養部を解体・改組するという大きな組織的な動きを作りました。ここではもう一つ「大学の自己点検・評価」制度の導入というもう一つの大きな流れがあります。これらは、設置基準の大綱化・簡略化で事前チェックを緩くする代わりに大学自身でその教育の内容を点検・評価するというものでした。この

表2. 学士課程教育に関する主な答申の経緯

	主な内容	メモ
1991年2月 <大学審議会答申> (平成3年) 大学教育の改善について	<ul style="list-style-type: none"> ・大学設置基準の大綱化・簡素化等 ・大学の自己点検・評価システム導入 ・生涯学習等に対応した履修形態の柔軟化 	一般教育, 専門教育, 外国語, 保健体育の 科目区分の廃止等 学士の種類の廃止 →ほとんどの国立大学で「教養部」の 改組・廃止→教養教育の理念の後退
1997年12月 <大学審議会答申> (平成9年) 高等教育の一層の改善について	<ul style="list-style-type: none"> ・大学の理念・目標の明確化 ・教養教育の重要性の再確認 ・学習効果を高める工夫 ・教育活動の評価のあり方 	↓ 教養教育の重要性の再確認
1998年10月 <大学審議会答申> (平成10年) 21世紀の大学像と今後の 改革方策について —競走的环境の中で個性 が輝く大学—	<ul style="list-style-type: none"> ・課題探求能力の育成 —教育研究の質の向上— ・教育研究システムの柔構造化 —大学の自律性の確保— ・責任ある意志決定と実行 —組織運営体制の整備— ・多元的な評価システムの確立 —大学の個性化と教育研究の不断の 改善— 	FDの努力義務化 大学設置基準 第二十五条の二 大学は、 当該大学の授業の内容及び方法の改善を 図るための組織的な研修及び研究の実施 に努めなければならない。(平一一文令 四〇・追加)
2002年2月 <中央教育審議会答申> (平成14年) 新しい時代における教養 教育の在り方について	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラム改革や指導方法の改善 ・大学や教員の積極的な取り組みを促す 仕組みの整備 ・教養教育の責任ある実施体制の確立 ・社会・異文化との交流の促進 	麻生提言 (高等教育政策の「3つの方針」が提 言される) 2001年, 審議会の組織変更, 「大学審 議会」から「中央教育審議会 大学分 科会」へ
2005年1月 <中央教育審議会答申> (平成17年) 我が国の高等教育の将来 像	<ul style="list-style-type: none"> ・高等教育機関の個性・特色の明確化 ・高等教育の質の保証 ・高等教育機関のあり方 ・早急に取り組むべき重点施策(「12の 提言」) 	→保障されるべき「質」とは?
2007年9月 <中央教育審議会大学分 科会(審議経過報告)> (平成19年) 学士過程教育の再構築に 向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・学位の授与, 学修の評価 ・教育内容・方法 ・高等学校との接続 ・教職員の職能開発 ・質保障システム 	単位制度の実質化 (45時間の学修を以て 1単位を実質化するために自主学習を促 す。) FDの義務化 第二十五条の二 大学は、当該大学の授 業の内容及び方法の改善を図るための組 織的な研修及び研究を実施するものとし る。(平成十九年七月三十一日)

後の答申では、後退した教養教育の見直しと共に
そもそも「学士課程教育とは何か、どうあるべき
か」という議論が続いている所ですが、FDにつ
いて焦点をあてて経緯を追ってみることにします。
1997年の答申(「高等教育の一層の改善について」)
では、「学習効果を高める工夫」「教育活動の評価
のあり方」について言及されています。続く1998
年答申(「21世紀の大学像と今後の改革方策につ
いて」)では、「教育研究の不断の改善」というこ
とで「大学設置基準 第二十五条」に以下の文言
が追加されました。「大学は、当該大学の授業の

内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及
び研究の実施に努めなければならない。(平一一
文令四〇・追加)」これがいわゆる「努力義務化」
といわれるものです。さらに2005年答申(「我が
国の高等教育の将来像」)では、高等教育の全体像、
高等教育機関のあり方、社会の役割など幅広い提
言がなされました。これらの流れの中で大学分科
会制度・教育部会内で「大学設置基準」の見直し
が検討され、第二十五条の二が「大学は、当該
大学の授業の内容及び方法の改善を図るための組
織的な研修及び研究を実施するものとする。(平

成十九年七月三十一日)」と義務化の方向へ改正されました。続いて9月に中央教育審議会大学分科会制度・教育部会 学士課程の教育の在り方に関する小委員会から「学士課程教育の再構築に向けて（審議経過報告）」が出されました。これには、高等教育の質の保証に関連して、「第2節 教育内容・方法等」「第4節 教職員の職能開発」とそれぞれ一節をさき、具体的な内容まで踏み込んだ提言がなされています。第4節の〈改革の方策〉で「大学の取り組み」としては以下の事が提言されています。

- ①「3つの方針」に関する共通理解を確立し、教員各自の教育実践の在り方を主体的に見直す場としてFDを機能させ、活性化を図る。
- ②FDの実施に当たって、多様な参加者へのきめ細かな配慮をする。
- ③個々の教員の授業改善に向けた努力を支援する体制を整える。
- ④教員の人事・採用に当たっての業績評価について、研究面に偏することなく、教育面を一層重視する。
- ⑤人材養成の目的に応じて大学院における大学教員養成機能（プレFD）の強化を図る。
- ⑥教員と協働する専門性の高い職員の育成に向け、SDの機会と場を充実する。

これらは、大学の組織としての取り組みの枠組みを示したものです。

では、具体的なFD活動の内容にはどんなものがあるのでしょうか？

以下は、絹川（2004、pp317-318）からの抜粋です。

FDには次のような活動がある（大学セミナー・ハウス編、1999参照）

- (1) 大学の理念・目標を理解するワークショップ
- (2) ベテラン教員による新任教員への指導
- (3) 教員の教育技法（学習理論、授業法、講義法、討論法、学業評価法、教育機器利用法、メディア・リテラシーの習熟）を改善するための支援プログラム
- (4) カリキュラム開発
- (5) 学習支援（履修指導）システムの開発
- (6) 教育制度の理解（学校教育法、大学設置基準、学則、履修規則、単位制度）
- (7) アセスメント（学生による授業評価、同僚教員による教授法評価、教員の諸活動の定期的

評価）

- (8) 教育優秀教員の表彰
- (9) 教員の研究支援
- (10) 研究と教育の調和を図るシステムと学内組織の構築の研究
- (11) 大学の管理運営と教授会権限の関係についての理解
- (12) 大学教員の倫理規程と社会的責任の周知
- (13) 自己点検・評価活動とその活用

上述をみればわかるように、FDは大学教員個人の資質開発を基礎とするが、必然的に各教員個人を超えて、教授団としての取り組みを必要とする。その意味で、FDを「教授団資質開発」といわなければならない。

つまり、義務化に伴い大学がこれらの活動を支援する制度を整えて各教員がそれぞれの必要に応じてこれらを利用していくというのが望ましい姿と言えましょう。

さて、これまでは大きな制度上の問題について説明しましたが、本プロジェクトの活動と頂いたアンケートについて考えてみます。残念なことですが「悪く評価されないように、学生の嗜好に合わせてしまう。FDによる逆の機能です。（40代、非常勤）」というような「授業評価＝学生の満足度を上げる」というような誤解がまだ見うけられます。最後の授業だけで取るアンケートをその授業の最終という意味で「授業評価」とすれば、各自が授業進行中に学生の意見を求めるものまで含めて「学生による授業調査」と言えると思います。これらは、言うまでもないことですが、学生の満足度を上げる為だけのものではなくその授業の方法や内容を省みる資料でしかありません。各担当教員が自分の授業を点検する活動そのものが個々のFD活動と言えます。さらに、「FD＝授業評価」という誤解が完全に払拭されているとは言い難い状況です。

今回の「FDの義務化」で大学は、FDに関わる制度の整備と点検が必須事項となりました。しかし、上記の13項目に関わる制度をいくら整えても利用する教員がいなくては、制度として形骸化します。ですが、これらの利用を望まないところへ強制的に義務づけることつまり「大学への義務化＝個人への義務化」と捉えることは、教育の形骸化につながるのだと言えます。本アンケートの「問10. 教育に関する意見・感想」では、「総

研アンケートは参考になるので、自由参加である限りは有用と思います。ただし、教員がアンケート結果を気にしますと、むしろ害になるでしょう。最近の学生に合わせますと、大学教育ではなくなります。学生に不評でも、大学として押し通す点は大切にしたいです。(30代、非常勤)」という意見も頂いています。個々人のFDを「自分の教育に対するたゆまぬ問いかけ」と捉えるならすべての大学教員にとって必須の事項だと言えますし、それぞれの授業で学生と対面して行くのは教員自身である事を考えると「自律性」無しにはどのような制度も機能し得ません。

やや抽象論へ進んでしまいましたが、教育そのものを形骸化しないために、大学はFDの制度を整えるにあたって教員の自律性・自主性を尊重しこれらの参加が個々のメリットとなるような制度設計をしていくことが必要だと考えます。例えば、テニユアを求める若い教員や研究員、大学院生などへこれらの参加によって教育評価や教育業績としての付加価値をつけることで利用を促すような仕組みを作っていくことです。また、すでに常勤となられている先生にも「授業改善特別期間」を設けて、担当コマ数や学内行政負担を減らして新しい授業の試みや、学内や他大学の授業を参観したり、講演会やワークショップに参加する事を奨励するような制度を設けるなどです。

最後に個々の教員の方へ一つ提案をさせて頂きたいと思います。それは、『問2.5 2005年度の調査結果から、2006年度の授業を行うにあたって意識された点をお書き下さい。』で書いて頂いたような内容の事を次の学期の受講生へ積極的にフィードバックしてみてもどうでしょうか?という事です。例えば「前年度の自分の授業評価でこういう指摘があったので、この辺をこう改善したいと思う。ついては、もしまたそういう傾向にあったら指摘して欲しい。」というようなことを最初の授業のガイダンスの時にでも学生に周知させてみてはどうだろうか。

このような提案をするのは次のような調査の結果からです。2006年度に「評価情報分析室」が学生へ2005年度の調査についてアンケート調査を行いました(回答者=682名)。この中で、「あなたは2005年度の授業調査にまじめに答えましたか」という質問に「かなりまじめに答えた」「ややま

じめに答えた」「ややいい加減に答えた」「かなりいい加減に答えた」の4つから選んで答えるものがあり、9割の学生が「まじめに回答」と答えました。さらに続く、「この授業調査が授業を変えるのに役にたっていると思いますか」という問いでは、「役に立つと思う」という回答が約半数、約3割の学生が「役に立たない」と回答しています。「なぜ役に立たないと思うのですか」という問いに対しては、回答者179名の内約7割が「教員の授業改善への意欲が乏しいから」と答えています。これは大変不面目な結果と言えるのではないでしょうか?学生の9割がまじめに回答しているにもかかわらずその結果について教員の側が、学生に分かるかたちでフィードバックしていない結果といえます。一斉調査を実施しない年度でも本プロジェクトの調査へ、春学期と秋学期で500クラスほど、300名程度の教員が参加されています。それぞれの先生が結果をふまえて次学期の授業へ臨まれていると思います。授業調査結果の郵送時において「教員アンケート」にも「〇〇の点に気をつけたい」という回答が見られます。しかし、先生方がその取り組みを「学生へオープンにしているのでしょうか?」という点です。「先に評価した学生とは異なるから言ってもしょうがない。」とお考えかも知れませんが、学生の立場に立って見ると「いくつかの授業でアンケートに答えたけどどうなってるんだろう?」「先生達は自分たちのアンケートを利用してくれているんだろうか」と考えても致し方の無いことだと思います。学生は、履修してしまった授業のアンケートについて気になっても公開されている教員のコメントを見に行きません。実際「ネットにある結果を見た」という回答は1割に過ぎません。学生は毎学期いくつかの授業でアンケートに答えるという経験をしているはずですが、自分が初めて履修する授業、教員であればこそ「アンケートを信頼してこのように利用している」という態度を教員が最初に示せば、「自分たちの回答も利用してもらっている」という実感を持って、「その授業のアンケートに責任ある回答」を寄せるのではないかと思います。

大変些細なように思える提案ですが、教育は学生と教員のコミュニケーション無しには成り立ちません。この授業でどのような工夫をどのような

意図の元に行っているか、学生へ明示していくことも1つのコミュニケーションの方法ではないでしょうか。

最後になりましたが、本プロジェクトで過去、何回か同様のアンケートを実施して参りました。毎回調査票を送付した3割くらいの方から回答を頂き、プロジェクトメンバー一同大変感謝しています。これらの回答そのものが本学における先生方の教育に対する熱意を示すものであり、大切なFD活動そのものではないかと考えます。

【参考文献】

浅野考平 1996「『授業についての調査プロジェクト』経過報告」総研ジャーナル69号、pp2-7
浅野考平 2002「FDの周辺にある諸問題」総研ジャーナル80号、pp25-28
絹川正吉 2004「大学教員の意識改革と実践—FDの理論と実際—」絹川正吉、館昭編著「学士課程

教育の改革（東信堂）」pp311-355
高等教育プロジェクト 1993「『高等教育に関する研究』経過報告」総研ジャーナル63号、pp55-77
谷田薫 2003「授業調査に関する教員アンケート報告」総研ジャーナル83号 pp21-30
中央審議会大学分科会制度部会（第21回審議資料）
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo4/gijiroku/003/06102415.htm
平田薫 1995「大学における授業を考える」総研ジャーナル66号 pp.16-26
文部科学省 中央教育審議会大学分科会制度・教育部会学士課程教育の在り方に関する小委員会
2007 「学士課程教育の再構築に向けて」＜審議経過報告＞ http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo4/index.htm
文部科学省 2007「文部科学統計要覧（平成19年版）」国立印刷局
大学セミナー・ハウス編 1999「大学力を創る：FDハンドブック」東信堂

付録1. オープンアンサーへの回答（括弧内は、回答者の年代と常勤・非常勤の別、最後の番号は整理番号で特に意味はありません。）

「問5.2一斉調査の結果から、今年度（2006年度）の授業を行うにあたって意識された点がありましたらお書き下さい（126 / 263=47.9%）」

- ・パワーポイント等、視聴覚資料の利用。
(20代, 非常勤, 412)
- ・板書の構成。
(30代, 常勤, 14)
- ・目に余るような私語は禁じること。(周囲の学生の迷惑にならないように)
(30代, 常勤, 401)
- ・講義内容の明確さや分かりやすさに留意。パワーポイントの活用。
(30代, 非常勤, 342)
- ・配布資料の簡略化など。
(30代, 非常勤, 101)
- ・学生の要望は勝手なものも多くあり、その点は無視して授業を行うようになりました。妥当な点は、改善点として留意しております。
(30代, 非常勤, 35)
- ・こちらの授業の意図が（目的）が十分に伝わっていないようだったので、その点を今年度は丁寧に説明した。
(30代, 非常勤, 373)
- ・自由記述にあった点の改善に努めた。
(30代, 非常勤, 141)
- ・授業で扱う内容や進行方法に可能なかぎり学生の意見、希望をとり入れた。
(30代, 非常勤, 301)
- ・授業の進行速度およびレベルを下げた。
(30代, 非常勤, 165)
- ・授業評価で書かれた点は常に意識しています。
(30代, 非常勤, 130)
- ・宿題が多いという意見が多数あったので、2006年度は自主性に任せてみた。
(30代, 非常勤, 445)
- ・できる限り全ての要求に応えられるよう努力した。
(30代, 非常勤, 21)
- ・板書とパワーポイントの比率をかえるなどの配慮をした。
(30代, 非常勤, 328)
- ・板書のスピード。
(30代, 非常勤, 386)
- ・プリントを減らす。
(30代, 非常勤, 351)
- ・平均値の少ない項目については、できる限り改善するよう努めた。
(30代, 非常勤, 441)
- ・難しいという声が多かったので、基本的な説明と練習をさらに増やし、何度の高い項目は一部省略しました。
(30代, 非常勤, 18)
- ・授業の進め方においては、話すスピードに気をつけた。配布資料に関しては、説明を丁寧にしよう心がけた。
(40代, 常勤, 279)
- ・従来、独自のフォームで実施してきた授業調査と大差ない結果であったので、特に意識したことはない。
(40代, 常勤, 4)
- ・授業内容、ねらい、それに基づく学生への期待をより明確に伝えるようにしました。契約の概念として理解してもらおうということです。
(40代, 常勤, 427)

- ・授業の速度（速すぎる）。
(40代, 常勤, 359)
- ・資料提示の方法。
(40代, 常勤, 58)
- ・多人数の授業での板書などに対するコメントで指摘された点の改善。
(40代, 常勤, 388)
- ・調査結果にあまり不満はなかったのであまり意識していない。
(40代, 常勤, 72)
- ・テキスト改訂。
(40代, 常勤, 37)
- ・できるだけ学生の目線に立って授業を構築しよう心がけた。
(40代, 常勤, 226)
- ・特に苦情。
(40代, 常勤, 191)
- ・納得のできる（参考になる）提案、批判になるべく答えるように工夫した。
(40代, 常勤, 168)
- ・板書のやり方を工夫するようになりました。
(40代, 常勤, 12)
- ・フィードバックの機会を多く設けること。積極的にメモをとるよう最初の授業で指示すること。
(40代, 非常勤, 299)
- ・"As I teach conversation, movable tables are better I would hope that students prepare Better for listening exercises; however, writing and reading were for better, sometimes excellent"
(40代, 非常勤, 139)
- ・課題の分量、難易度。
(40代, 非常勤, 100)
- ・言語教育科目のコミュニケーションクラスなので読む、書く、聞く、話すという面をすべてカバーすることが必要です。そこで学生の希望に応じて会話を増やしました。
(40代, 非常勤, 311)
- ・声を通るように意識した。
(40代, 非常勤, 10)
- ・声について指摘があったのでマイクを用いずに肉声で明瞭に話す。
(40代, 非常勤, 142)
- ・時間内に授業を終了する。シラバスになるべく沿う。
(40代, 非常勤, 411)
- ・試験、等の方法について変更。
(40代, 非常勤, 392)
- ・私語は注意する。
(40代, 非常勤, 416)
- ・授業のスピードについて考慮し、また要約提出と小テストが重ならないように授業計画を作成した。
(40代, 非常勤, 228)
- ・授業をより良いものにする為に建設的であると思われる学生の意見は今年度の授業改善目標として全て手帳に書きとめ、常に意識して授業に臨んだ。
(40代, 非常勤, 402)
- ・宿題の一部を授業中でやるようにしました。
(40代, 非常勤, 406)
- ・前年に引き続き、教室に設置してある機器を活用し、学生が普段は目にしない資料を見せること。
(40代, 非常勤, 417)
- ・なるべく教員はしゃべらず学生に話させる。
(40代, 非常勤, 134)

- ・なるべくわかりやすく、かつときばきと進むことを意識したのですが、いつもそれが達成できるとはかぎりません。(40代, 非常勤, 438)
- ・板書、時間配分の改善点に気がつけました。(40代, 非常勤, 268)
- ・板書が多いとの回答があった(ほどよいという回答と同じくらい)ので、ビデオやコピー(プリント)を利用するようにした。(40代, 非常勤, 120)
- ・板書への苦情が寄せられていたため、善処した。(40代, 非常勤, 235)
- ・副教材や板書の仕方について。(40代, 非常勤, 307)
- ・より分かりやすく説明することと練習問題をふやすことです。(40代, 非常勤, 409)
- ・レジュメの作り方を変えたり、板書の方法を変更した。(40代, 非常勤, 144)
- ・悪く評価されないように、学生の嗜好に合わせてしまう。FDによる逆の機能です。(40代, 非常勤, 143)
- ・学生に分かりやすく話すように意識した。・学生の反応に留意するようにした。(50代, 常勤, 178)
- ・少し授業の内容のレベルを下げる。・説明を詳しくする。(50代, 常勤, 387)
- ・あまりないが、意識のさでは、常に反省点があった。(50代, 常勤, 431)
- ・各回ごとの内容の明確化。(50代, 常勤, 343)
- ・学生からの評価は、総体的には、役に立たないものである。というあたりです。(50代, 常勤, 234)
- ・学生の理解度を確認する必要性。(50代, 常勤, 167)
- ・授業の方法を変えた。(50代, 常勤, 126)
- ・授業への興味を抱かせるような教材の選択に、特に意を用いた。(50代, 常勤, 11)
- ・授業要領の予告通り、授業を進めることを当然と学生が考えていることを知った。予定通り展開することの大切さ。(50代, 常勤, 93)
- ・抽象度の高い議論に対して抵抗を示す学生が多いので、学的な要求に堪える頭の動かし方のトレーニングを意識して、小演習の課題を設定するように努めた。(50代, 常勤, 27)
- ・テキストの選択を慎重にした。(50代, 常勤, 356)
- ・動機付け。(50代, 常勤, 262)
- ・特になし。科目も受講生の数もまったく異なるので。(50代, 常勤, 166)
- ・板書の仕方と消すまでの時間。(50代, 常勤, 13)
- ・板書の量をかなり増やした。資料の配布も量を増やした。(50代, 常勤, 393)
- ・よいアンケート結果を得ていたなので、その経路を保ちいくぶん改良するようにした。驚いたことにアンケート結果は悪化した。(50代, 常勤, 203)
- ・レジュメの配布方法を変更した。話し方に注意した。(50代, 常勤, 370)
- ・話した事が、どの程度伝わっているか。(50代, 非常勤, 237)
- ・一回の授業をシステムティックに進めること。(50代, 非常勤, 345)

- ・大きな声で話すこと。テキストの内容がおもしろいものをさがした。(50代, 非常勤, 163)
- ・学生がどういう姿勢で自分の授業に臨んでいるか意識するようになった。(今までは自分の方がどのようにするか考えてばかりいたが。)(50代, 非常勤, 313)
- ・学生さん方が識りたいと思っていること、また、理解ができていないところを見極めて、即時対応できるようにする。(50代, 非常勤, 62)
- ・学生諸君の意識をカテゴリーに分けて理解できるようになった。(50代, 非常勤, 435)
- ・学生とのコミュニケーションを大切にするようになりました。日常生活のことなど、語学の授業に取り入れ、質問したりしています。(50代, 非常勤, 440)
- ・課題の量が多いという意見に従い、量を減したが学生にとって課題はゼロでないと感じないよう感じる。(50代, 非常勤, 277)
- ・課題の量と質を意識した。(50代, 非常勤, 82)
- ・グループの活用をさらにめざした。テキスト選択に役立てた。(50代, 非常勤, 48)
- ・声が小さくて聞きとりにくい時があるとの指摘があったことを思い出しながら、大きく、少しゆっくり目に話すように努めた。(50代, 非常勤, 414)
- ・授業導入時のさらなる工夫。(50代, 非常勤, 3)
- ・授業の内容を少し簡単にした。(50代, 非常勤, 444)
- ・授業方法、課題の量などの検討改善。(50代, 非常勤, 315)
- ・授業をゆっくり進める。(50代, 非常勤, 242)
- ・受講生に興味をひく内容のテキストを選ぶようにいたしました。(50代, 非常勤, 60)
- ・出席も評価にくわえることです。(50代, 非常勤, 425)
- ・上位学習レベルの学生(よくできる学生)への満足のいく教育指導も必要でもっと学習量、内容とも充実させたいという点。従来、自分では、つい中位、下位学生向けの「よくわかる授業」にこだわりすぎたことが、アンケートからわかった。(50代, 非常勤, 66)
- ・進度。(50代, 非常勤, 171)
- ・遅刻者の入室制限時間(30分以内から15分以内へ変更)。(50代, 非常勤, 394)
- ・板書の工夫。(50代, 非常勤, 326)
- ・板書をきれいに書き、できるだけわかりやすくゆっくり進む。(50代, 非常勤, 39)
- ・評価の低いところを意識して改善に努めた。自由記述から低い評価をつけている学生は総じて学力の低いと察せられるので、話し方をゆっくり、ポイントはくり返し、または板書するように心がけるようにした。(50代, 非常勤, 137)
- ・ペア授業に於ける引き継ぎを詳細にせらう様、ペアの教師に頼む。(50代, 非常勤, 204)
- ・ゆっくり話すことを心がけた。(50代, 非常勤, 297)
- ・履修登録が各クラスともに700人をこえる大人数授業であるので私語が発生する。私語に対して厳しく注意した。(50代, 非常勤, 88)
- ・演習を強化した。講義の冒頭で前回の復習を行った。

- (60代, その他, 352)
- ・「板書が判りにくい」とあったので、気をつけるようにした。(60代, 常勤, 81)
- ・席指定が学生たちには私の予想に反して、好まれていたこと。・話す場合に、できるだけゆっくりと学生の理解度を確認しながら説明等をするように心がけている。(60代, 常勤, 197)
- ・学生の講義内容の水準が少し低かった。(60代, 常勤, 220)
- ・学生の理解度を意識すること。(60代, 常勤, 38)
- ・声の大きさ、ゆっくり話す。(60代, 常勤, 194)
- ・授業により積極的に取り組むよう促すための工夫をしたこと。(60代, 常勤, 57)
- ・授業のすすめ方に工夫をこらした。(60代, 常勤, 140)
- ・板書の仕方 話し方。(60代, 常勤, 150)
- ・板書の量を少し減らした。(60代, 常勤, 382)
- ・板書の際に、アルファベットの文字が学生諸君に読み取りやすいように配慮するようになった。・例文による説明を増やして、文法的説明がよりわかりやすくなるように努めた。(60代, 非常勤, 22)
- ・講義内容を大幅に見直したこと ・講義の内容を見直しと同時に、大幅に減少させたこと。(60代, 非常勤, 296)
- ・授業のペースがあまり速くならないように注意。(60代, 非常勤, 405)
- ・1. 板書の丁重さに留意2. 余談の重要性を強調3. 修了時刻(講義の)の厳守。(60代, 非常勤, 76)
- ・学生から指摘された箇所をなるべく改善するようにした。(60代, 非常勤, 99)
- ・学生の理解度、能力レベルが理解出来たので、より理解してもらえるように配慮しているつもりである。(60代, 非常勤, 340)
- ・講義を簡単(なるべく箇条書き形式)にする。(60代, 非常勤, 17)
- ・事前にプリント配布をした方が良さそう。(60代, 非常勤, 124)
- ・素材を限定してわかりやすく説明する。(60代, 非常勤, 7)
- ・なるべく毎授業レジメを配布して授業の話を明確にするようにした。(60代, 非常勤, 59)
- ・板書をていねいに書く。(60代, 非常勤, 175)
- ・ビデオ、DVDの使用が好評だったので多用した。ミニレポートのチェックが好評だったので回数を増した。(60代, 非常勤, 146)
- ・問題点を吟味する。必ずしも評価に迎合しない。(60代, 非常勤, 173)
- ・あいまいな言葉を避け、明瞭に発音するように心がける。(70代, 非常勤, 400)
- ・学生の希望に従い、出席状況・授業への取り組みなどを平常点として成績評価に加味することにした。(70代, 非常勤, 314)
- ・可能な限りわかり易く話そうと努めた。(70代, 非常勤, 221)

- ・時間配分を考慮した。(70代, 非常勤, 47)
- ・実例(現物)と参考書籍の現物を授業中に出来るかぎり多く提示(自宅から持参するのですこし面倒ですが)が効果的且つ必要。(70代, 非常勤, 357)
- ・板書(字の大きさ、量)、マイクの使い方、等。(70代, 非常勤, 310)
- ・板書の書き方(楷書で書く)。(70代, 非常勤, 177)
- ・シラバスの書き方をより明確にした。(無回答, 258)

問7. ご担当の科目において、受験生に対して予習・復習の仕方について、何らかの具体的な指示をされていますか?
(yesの場合の具体的な記述)

- ・小テストを実施しているのでその準備について説明している。(, 無回答, 258)
- ・予習用の解説プリントを作成し、配布している。(20代, 非常勤, 152)
- ・Webに毎回の授業教材をおいている。課題も復習となる内容としている。質問についてはメールで受けつけている。これらは常にアナウンスしている。(20代, 非常勤, 347)
- ・課題を出している。(20代, 非常勤, 1)
- ・初回の授業において予習・復習の手順と重要性について、まとまった時間をとって教えています。(30代, 常勤, 264)
- ・予習は絶対条件。(30代, 常勤, 318)
- ・(指示といえる程ではありませんが)少なくとも教科書をきちんと通読するようにいっています(レジメを配布しているのですが、こうすると教科書を読まない学生がいて困っています)。(30代, 常勤, 85)
- ・適宜、必要と思われる学習を示唆。(30代, 常勤, 379)
- ・平常課題、演習問題を課している。(30代, 常勤, 367)
- ・補足説明をYドライブに置き、時間のある時に見てもらうようにした。(30代, 常勤, 397)
- ・毎回ではないが、授業をよりよく理解してもらうための資料や文献を配布し、次回までに読むように指示した。(30代, 常勤, 256)
- ・参考文献とページ数を指定して読んでくるように伝える。次回までの作業内容を個人ごとに伝える。(30代, 常勤, 211)
- ・課題を常に与えていた。(30代, 常勤, 241)
- ・毎回演習問題を配布した。(30代, 常勤, 430)
- ・範囲を指定した上で、単語を調べてくるように指示している(外国語科目の予習)。(30代, 非常勤, 190)
- ・速読(英語)授業では新ユニットの予習の必要なし。前回速読をおえたユニットの各パラグラフごとの要約。・テキスト本文の音読。・毎回授業での小テストの準備。等。(30代, 非常勤, 28)
- ・Webの利用、TV番組の活用等。(30代, 非常勤, 386)

- ・参考文献をあげた。(30代,非常勤,380)
- ・参考文献を具体的に指示。要点を説明。(30代,非常勤,261)
- ・授業内容の理解を深める課題を用意している。(30代,非常勤,321)
- ・授業のときに速読の練習をさせるため、予習はさせずに復習に力を入れさせた。英語の授業としては、少し珍しいかもしれない。(30代,非常勤,77)
- ・テキストをあらかじめ読むこと。(30代,非常勤,395)
- ・特に授業中テストやプレゼンテーションなどする場合、学習の重要ポイントをくり返し強調する。課題のフィードバックをこまめにする。(30代,非常勤,249)
- ・初習者については、復習に重点をおいて、一項目ずつきっちりと消化すること。「理解」と「習得」は違うことだとくり返している。中級者の読解の予習については、一字一句を辞書で引くのではなく、内容のおおよその見当をつけて、キーワードから調べるよう指示している。(30代,非常勤,301)
- ・本(参考文献、講義中に指示)を読むように、指導をしています。大学の勉強は自分で本を読んで考えるべきとの考えからです。テストの時、大きな差が出ます。(30代,非常勤,35)
- ・毎回、次に勉強するところや予習するところを黒板に書き、さらに詳しく説明したり、例を出したりした。訳文をノートに書いてくるよう指示した。英文エッセイでは、モデルとなる英文をプリントして配布した。(30代,非常勤,441)
- ・予習として宿題を出しています。その内容を次の授業で答え合わせをする形式で、数人に答えを板書させています。(30代,非常勤,413)
- ・読むべき文献リストの提示。(30代,非常勤,127)
- ・私の担当している日本史学史料研究D1は、歴史資料の講読を通して歴史学の基礎知識や基本的姿勢を学ぶことを目的としている。それゆえ、授業の最初で、課題史料の原典(出典)の調査方法、史料中の難解語句の調査方法、そして課題史料を理解する上で必要となる辞典、事典や参考文献へのアクセス方法について学生に教示し、今後歴史学の授業を受けるにあたって必要な予習方法を理解してもらうことに重きを置いている。(30代,非常勤,302)
- ・毎回の講義後に復習し、次の授業にのぞむこと。・欠席した場合は必ずレジュメを見て、分からないことがあれば友人か私に聞くようにすること。(この2点ともなかなか実行している学生が少ない)→きいてみたら、就活で忙しいという理由がもっともきかれる。(30代,非常勤,266)
- ・研究活動に取り組む場合、全体のプロセスを示したうえで、段階を追ってその時々調べなければならないことを課題として出題した。例 商店街との共同研究 ①商店街とは→レポート出題 ②個々の業種・業態→レポート出題 ③課題抽出・現状分析→レポート ④研究会でのプレゼン→たたき台の作成 ◎要は、研究活動に必要なことを予習・復習をかねてレポートとし

- て出題。少人数の授業なので必ず添削を行なった。・出席確認等を目的にしたレポートは出していません。(30代,非常勤,257)
- ・専門用語の調べ方(webのページや専門事典の紹介等)を指示している(予習)。(30代,非常勤,281)
- ・e-learningの利用。(30代,非常勤,336)
- ・具体的にテキストの何ページ、何をしてくる(読んでくる、リスニングの仕方、単語調べるなど)と毎回言っています。(30代,非常勤,275)
- ・次回の予定を明確に示すことで予習をうながす。小テストを行うことで復習をうながす。(30代,非常勤,21)
- ・小テストor宿題。(30代,非常勤,122)
- ・単語の予習など。(30代,非常勤,329)
- ・復習・教科書のチャプターごとに次週英単語テストを行う勉強法(例文でおぼえる)を指導した(ほぼ隔週で実施)。・文法復習プリントを毎日課した。(30代,非常勤,165)
- ・毎回小テストをするという科目の性質上、予習していなければ平常点がつきにくいことを通達している。(30代,非常勤,24)
- ・授業終了時に今回の学習ポイント、次回の学習内容紹介、授業内で練習問題を行い、巡回して声掛けや質問対応を行いました。解決できなかった問題は次回までの宿題とし、疑問点の解決を促しました。次回まで解決できない点は次回質問するよう指導しました。(30代,非常勤,447)
- ・予習はしなくて良いが、復習はしっかり行うよう指示している。宿題形式の課題を与え、それ以外練習問題等は2006年度より自主性に任せている。(30代,非常勤,445)
- ・リスニング同じCDを何度もスクリプトを見ながら聴く。(40代,常勤,96)
- ・宿題 ・発表準備 ・小テスト準備。(40代,常勤,385)
- ・振り返り、レポート、グループでの課題提出を半ば義務づけることにより、その内容から、予習・復習となっていると思われる。(40代,常勤,199)
- ・辞書を使ってテキストの意味を正確に理解することなど。(40代,常勤,92)
- ・指定教材の研究。(40代,常勤,26)
- ・自分の能力にみあった形で予習をさせ、ノートを回収し改善点を指導した。(40代,常勤,217)
- ・シラバスに予習・復習の内容、範囲を記している。シラバスは第1回の授業で学生に配布し、その内容を説明している。(40代,常勤,172)
- ・ネットのホームページでの参考文献の提示など。(40代,常勤,87)
- ・毎回宿題提出。(40代,常勤,209)
- ・問題や宿題の提示。資料の前読み。(40代,常勤,388)
- ・レジュメの重要箇所を何度も指示 参考文献等の具体的内容提示。(40代,常勤,168)
- ・授業の性格上、資料を前もって見てもらう等の指示。(40代,常勤,58)
- ・text と reading assignment を指定した。(class前に読

- ・むことになっている。(40代,常勤,94)
- ・各回のテーマについて、日常場面での事例をさがして
くるように指示している。(40代,常勤,213)
- ・講義科目:レジュメを事前配布して予習の機会を与
えている。演習科目:予備報告の機会を与えて、準備学
習を深化させるようつとめている。(40代,常勤,4)
- ・最後の授業で半年の授業をふり返り、再度、流れを確
認するが、学生には、これをふまえて、具体的な部分
を頭に入れるよう指示している。(40代,常勤,359)
- ・授業の前に課題を毎回配布し、授業でとりあつかう。
(40代,常勤,12)
- ・資料を配付する際には、前の週に配布し、あらかじめ
読んできてもらう。(40代,常勤,260)
- ・テキストの該当ページを予習してくるよう伝えている。
(40代,常勤,429)
- ・リーディング・アサインメントを課す。課題の手順を
具体的に記したものを配布する。(40代,常勤,427)
- ・復習については特に言っていないが、予習は次回やる
ところを調べて来るように言っている。あたってから
やってないことがわかれば、1回2点減点といっている。
(40代,常勤,287)
- ・補助教材を用いての予習の仕方など。(40代,常勤,210)
- ・予め、授業の項目を指示するので、自分で参考書を読
む。・本や私が作成した演習問題を解く。・レジュメを
参考に自分でノートを完成させる。(40代,常勤,286)
- ・指定 Text の予習、Text 中の問題を選択し、それらを宿
題にしている。(40代,常勤,33)
- ・復習について、自分なりのメモを作り、流れを整理し
てみることを勧めています。それで疑問点が明確になっ
たら質問するようにとっています。予習について、
テキストの「事例研究」の章を拾い読みし、これに必
要な「手法」を調べることを試みよ。(40代,常勤,250)
- ・科目による。1.復習として、テキストにある課題をす
べてやって提出。2.復習として、次の時間の頭にレポー
トの答えを板書。(40代,常勤,37)
- ・毎回レポート等の宿題を出している。(40代,常勤,162)
- ・外国語のテキストなので毎回1章ずつ決めた箇所を読ん
でくること、が予習です。それに関してみるビデオの
理解を深めるためです。それに関して英語で質問しま
す。復習は特にありませんが、ブランクをうめる小テ
ストなどのため、フレーズ、イディオムを覚えてくる
ことが、復習です。(40代,非常勤,134)
- ・次回のテーマ(教科書の範囲)を授業の最後に説明する。
復習の小テストを一学期に数回実施している。
(40代,非常勤,323)
- ・2年生向けの仏文購読の授業。とにかく全訳し、ノー
トに書いてくるよう指導。授業中に自ら赤ペンで添削
させ、授業後に提出させる。それを教師がさらに点検、
添削し、次回授業時に返却している。
(40代,非常勤,100)
- ・CD を聞いてくる。単語をひいてくる。宿題のプリント
をしてくる。(40代,非常勤,416)
- ・FD システムにあわせた内容を念頭におきながら、シラ

- バスに明確に書いてある。(40代,非常勤,143)
- ・学期初めに予習方法のフォーマットを与え、それに
則って予習するよう指導した。また、予習したノート
を提出させ、添削して返した。(40代,非常勤,133)
- ・具体的に教科書の何ページの問題を予習してくること
又はこの文を次回小テストするので復習することなど
指示。(40代,非常勤,232)
- ・講読の授業に関しては、予習用の問題となる部分を指
示し、考えさせるためのプリントを配布し、考えてお
くようにさせる。これで今年はかなりうまくいき、予
習が十分であったため、授業そのものもレベルを上げ
ることができ、学生も毎回知らなかったことを知る満
足感が得られた様子。しかしこれも使用するテキスト
やクラスサイズに左右されると思われる。
(40代,非常勤,438)
- ・語学の授業については、予習の仕方や範囲や要件を初
回授業で明確に示し、以後はアットランダムに指名
して回答させ、その結果で平常評価を行うことを学生
に告げます。指名された折りに失敗したと思う学生は、
次回以降、自発的に回答することでリカバリができる
可能性がある、ということもあわせて通達します。
(40代,非常勤,223)
- ・実習なので、宿題をしてきてもらわないとはじまらない。
(40代,非常勤,106)
- ・宿題を出し、次回の予習をするよう伝えている。
(40代,非常勤,135)
- ・単語の学習をしっかりと行うこと。(40代,非常勤,311)
- ・特に1年生に対して、その科目をより理解する為に有
益と思われる予習、復習の方法を時折り伝え、参考図
書等も紹介している。語学では、発音、聞き取りの練
習方法と復習用プリント配布。文学では、参考図書と、
授業内容理解の為の作品のとらえ方。
(40代,非常勤,402)
- ・ほぼ毎回最初に小テストを行う。次回の範囲を指示し、
必要時予め指名する。(40代,非常勤,142)
- ・ほぼ毎日参考文献を紹介。とにかく本や論文をたくさ
ん読み考えるクセをつけるようくりかえし話した。
(40代,非常勤,376)
- ・講義ノート中心の復習。・テキストの予習箇所を示す。
(40代,非常勤,181)
- ・Web 上でスケジュールを提示し、毎回のように課題を
貸し提出させ、フィードバックしている。
(40代,非常勤,69)
- ・Web のBBS にて予習、復習に関する指示を出している。
(40代,非常勤,129)
- ・教科書の範囲を前もって知らせ、予習を促している。
復習については授業内容を反復・応用する課題を出し
た。(40代,非常勤,291)
- ・教科書をよむ。授業の内容をまとめさせ質問をかかせ
る。ロールプレイの役と課題を与える。
(40代,非常勤,308)
- ・教授の補足として、教科書をよむように、該当ページ
を紹介する。(40代,非常勤,54)

- ・参考文献の紹介。(40代,非常勤,238)
- ・宿題。(40代,非常勤,353)
- ・次の段階で役立つことを意識づけ、本人の自主性を喚起するようにした。(40代,非常勤,411)
- ・テキストを読む際に、「なるほど」と納得できた点や重要度が高いと思われる箇所には赤でラインを引き、理解できなかった点や「ここに書かれてあることはおかしい」と感じた箇所には青でラインを引くよう指示している。演習形式の授業でディスカッションを行うための準備として役立つ。(40代,非常勤,299)
- ・パソコンによる課題をさせた。(40代,非常勤,15)
- ・予習・復習にあたるものとして課題を与えた。その課題レポートの作成にあたり、授業でやった内容をふまえ論述するとはどういうことかについて説明し、またレポートにコメントをつけて返す際に、この内容がどういう位置づけにあるのか説明した。(40代,非常勤,369)
- ・レポート提出。(40代,非常勤,16)
- ・HWは授業の内容と密接に結びついているため、毎回マテリアルにも記述され、さらに口頭及びポイントを板書しています。(40代,非常勤,317)
- ・練習問題を出したり、小テストでチェックしたりしました。(40代,非常勤,409)
- ・新しい本文を習う前に、{①本文をCDのまねをして3~5回朗読②本文を一回ノートに写す}という予習、復習：{①練習問題を授業中、或は宿題としてやってもらう。②各課終了後、本文の暗記テストを実施する。③本文の内容を参考にして、作文とスピーチをしてもらう。}(40代,非常勤,406)
- ・興味を抱いたら、自分なりに工夫して、勉強するように。(40代,非常勤,346)
- ・語学科目であるので単語の予習、Q1Aのプリントに回答してくることを復習として要約文をまとめて提出させることを課している。(40代,非常勤,228)
- ・単語のミニテストの実施 関連情報の紹介 語学スキルを使うように奨励する。(40代,非常勤,439)
- ・復習について。今日の授業について行ったグループワークを見直すように指示していきます。(40代,非常勤,319)
- ・配布プリントの問題を自力で解くように指示。(40代,非常勤,312)
- ・くりかえしの実施により、自ら疑問点を見つけるように指示。(40代,非常勤,446)
- ・handoutのモデルを配布して、要点となる項目を説明(配布資料の作り方)。(50代,常勤,304)
- ・課題ごとにすべき予習を資料配布し、まとめのテストやレポートを書く際に復習することや方法を指示した。(50代,常勤,309)
- ・参考文献を提示し、各自が補足的学習をするように案内している。(50代,常勤,196)
- ・毎クラスごとに各自 reflection notesを書かせ、それを次のクラスに反映させる。又教える側も必ず同じノートを作成している。(50代,常勤,269)
- ・1. 授業予定内容の項目を Web で提示 2. 課題項目の

- 作業エクセルファイルを Web で提供。(50代,常勤,198)
- ・オリエンテーション時に指示している。シラバスにも明記している。(50代,常勤,293)
- ・グループ別にして、各グループの関心のテーマについて研究・発表させるよう指導(研演I)。(50代,常勤,233)
- ・参照してもらいたい文献をできるだけ数多く案内し、社会科学を学ぶ学生らしい頭の動かし方を身につけてもらうよう、その読み方、自分の間の導き方を示しつつ、自習を促した。(50代,常勤,27)
- ・指示した参考書を読むように促してきた。(50代,常勤,322)
- ・授業のための予習を意識的に要求した。具体的には教科書の特典頁を読むこと。(50代,常勤,167)
- ・シラバスの他に詳細な項目表を配布しており次の講義のテーマについて見ておくように指示している。定期的に重要事項を示して復習できるようにした。とりわけ、テストの準備に困ることがないように配慮した。(50代,常勤,393)
- ・新聞の切り抜き。(50代,常勤,276)
- ・常に課題を与えてあるので予習をしないと授業にならないのでその旨指示してある。(50代,常勤,45)
- ・テキストの該当箇所を前もって知らせ、読んで来るように指示している。(50代,常勤,383)
- ・復習を中心にするように。授業で新しい知識を学んだら、実際に「いかに活用できるか？」を考えること。(50代,常勤,71)
- ・毎時間、ワーキング・シートを配布している。(50代,常勤,148)
- ・予習・復習よりもむしろ、授業中、熱心にきくこと。(50代,常勤,93)
- ・レジュメの内容をテキストや辞典等で事実関係等を確認するように指示。質問、疑問を書き出してくるよう指示。(50代,常勤,370)
- ・外国語科目の予習・復習について、例文を全て覚える。そのためにカセット(CD)を聴きながら書く、毎回小テストを行うことによって予習・復習を予儀なくする。(50代,常勤,13)
- ・講読の授業は予習をしていなければ授業に出る必要がないと言っている。(50代,常勤,423)
- ・少なくとも、ザッとでもテキストに目を通して授業に臨むように毎回、指示している。(50代,常勤,11)
- ・方法よりも実行しないと追いついて行けない旨伝達し、かつ、復習テストを課した。(50代,常勤,262)
- ・参考書の指示、パワーポイントの中に、問題を示し、それらを中心にして、復習(ノート作成)を指示している。(50代,常勤,126)
- ・試験の前の時間に勉強すべき重要なポイントを示す。(50代,常勤,387)
- ・授業の最後に、その回の内容を応用する課題を出す。次回の最初にその課題の類題で小テストを行う。その後、再度解説する。予習は課していない。(50代,常勤,203)
- ・毎回課題を出し、次回までに提出。次回に回答を解説。

- (50代, 常勤, 325)
- ・ 演習での発表を義務づけるので必然的に予習、復習が必要となる。(50代, 常勤, 240)
- ・ 時間・仲間をみつけて行うように指示した。(50代, 常勤, 46)
- ・ ①週間で、授業以外(自宅・自主)の学習の報告書の提出②報告による加点・評価③自立し、自律できる学習者(ひいては社会人)の育成をめざすことを教育の一環とする私の考えを学生に理解してもらい、そのうえで週間学習報告を行っていることを説明している。それが予習・復習につながっている。(50代, 非常勤, 66)
- ・ reading、listening の課題を与えている。(50代, 非常勤, 315)
- ・ 英文を読む演習なので、かならず前もって読んでくるように指示しています。(50代, 非常勤, 79)
- ・ 語学ですので、復習はするように言っています。テキスト付録のCDを音楽CDを聞くように聞いて下さいと言っています。課題を提出するよう言っているので、それ自体復習になっているのではと思います。(50代, 非常勤, 440)
- ・ 授業外も必ず録音を聞くことです。(50代, 非常勤, 425)
- ・ 授業時間中に具体的に指示している。(50代, 非常勤, 419)
- ・ 単語の覚え方、ヒアリングの練習のやり方など。(50代, 非常勤, 25)
- ・ 特に TOEIC 対策の授業では語いを覚えることや、問題の解決方法について指示しました。(50代, 非常勤, 239)
- ・ 毎回小テストを実施するから、その範囲と要領などについて指示をする。(50代, 非常勤, 117)
- ・ 読み込み、宿題として提出させる課題問題を出す。(50代, 非常勤, 8)
- ・ 「現代社会理論演習」では報告という形で各個人に、またグループごとにテーマを決めさせ報告をさせた。講義では、できるだけ、授業の後に、内容に添った概念や、理論を使って自己の生活世界にとりこみ説明するようにレポートをかかせ、次回で、その中から、全体にフィードバックさせた。そのことで、授業を厚みのあるものにした。(50代, 非常勤, 282)
- ・ 使用 text を良く理解すること。・関連の雑誌、記事等をよく読むこと。(50代, 非常勤, 332)
- ・ 積極的な質問を勧めた。(50代, 非常勤, 147)
- ・ 教材「現代の総合商社」を読んでくること。(50代, 非常勤, 403)
- ・ 参考文献を読むように指示。(50代, 非常勤, 363)
- ・ 週に一度は大型書店の店内を歩き、本をめぐる人々の動向を観察すること。(50代, 非常勤, 394)
- ・ 予習は不要復習は配布しているレジュメの再読。(50代, 非常勤, 170)
- ・ レポートの書き方。データ (HP) の読み方。(50代, 非常勤, 237)
- ・ 〈英語購読〉《予習》・通読(辞書を見ないで前から読み下す)・音読・精読(辞書・文法書でチェックしながら)・音読《復習》・単語、熟語、文法事項の確認・

- 音読。(50代, 非常勤, 421)
- ・ 語彙テストを毎回行うので、その為の復習・CD付きのテキストの場合はシャドーイング読みすること。(50代, 非常勤, 171)
- ・ 1 回生は辞書引きなどの予習に加え、毎回後ろに添付されている練習問題を提出してもらい、こちらで訂正、採点を行って返却していますが、それを更に一特に間違ったところ一復習するよう指導しています。(50代, 非常勤, 62)
- ・ "Preview is homework. Review is conducted during the next lesson. Homework is to prepare questions to use for discussion of the next topic; for example, I always encourage my students to prepare for the next class and I check to make sure they did their preparation, and give them my appropriate comments." (50代, 非常勤, 64)
- ・ Students are told what exams will cover and types questions included. (50代, 非常勤, 358)
- ・ 必ず次回までに復習する事(全員がしている訳ではない。学生の意裁によるので言っても言わなくても変わらない様な気がする)。(50代, 非常勤, 204)
- ・ 語学ですので、TOEIC の練習(問題を家出さちんとやってくる。CD をきいてくる。)毎回小テストがあるので、reading 十分な予習。(50代, 非常勤, 48)
- ・ シラバスにそって、次回授業内容を明示し、予習すべき項目を指示している。(50代, 非常勤, 164)
- ・ シラバスのアウトラインを1回目の授業で配り、授業(1回に進むページ数、復習テストの予定と範囲など)の終わりに次回の授業の予定を全員で確認しあう。(50代, 非常勤, 345)
- ・ 単語調べ。(50代, 非常勤, 313)
- ・ 次の授業で扱う部分について課題作成の手順説明およびワークシートでの準備をさせる。(50代, 非常勤, 277)
- ・ 復習には必ず宿題を出している。(50代, 非常勤, 242)
- ・ 毎回の授業で進む範囲を明確にして予習すべき範囲がわかるようにする。毎回小テストをして成績に反映させているので復習の効率的なやり方が身についていく。(50代, 非常勤, 53)
- ・ 予習として、ノートに英文を書き写し、できるだけ日本語に訳して来るよう指示し、1Unit が終了した後、ノートをチェックしている。復習として、音読カードを配布し、音読してきた受講生には、加点している。毎回単語熟語テストを行っている。(50代, 非常勤, 60)
- ・ 予習は辞書をひいて、単語の意味を調べる。復習は練習問題をやる。CD を聞き、発音を練習すること。(50代, 非常勤, 30)
- ・ 復習: 教科書に重要点において下線を引かせ、その部分を復唱させる。(50代, 非常勤, 88)
- ・ 教科書の指定箇所を読んでいただいた疑問・質問をあらかじめメールで送るように指示している。(授業中に主な質問にかかわる話をする) (60代, 常勤, 57)
- ・ 事前に Web で教材配布。(60代, 常勤, 159)
- ・ 特に指示してはいないが毎回小テストをするので、学

<p>生は予習せざるを得ないようになっている。 (60代, 常勤, 324)</p> <p>・予習を必ずやってくること。 (60代, 常勤, 38)</p> <p>・1年生対象の基礎専門科目では期中に4回の復習・練習テストを実施し、それに備えて勉強するよう伝えている。また、学部で用意している院生によるチューター制度を活用するよう伝えている。学部 LAN にレジュメを公開している。 (60代, 常勤, 361)</p> <p>・各授業の第1回目の時に、その重要性は説明している。 (60代, 常勤, 382)</p> <p>・教科書、配布判例の自習。 (60代, 常勤, 42)</p> <p>・計算問題の復習を指示しました。 (60代, 常勤, 251)</p> <p>・参考文献を紹介して読むように指示しています。 (60代, 常勤, 270)</p> <p>・授業スケジュールを明示し、毎回の授業範囲を伝え、事前に読むべきテキストの範囲を知らせている。 (60代, 常勤, 272)</p> <p>・受験直前に、業者販売の「講義ノート」で“一夜づけ”は絶対駄目！！と注意。やはり出席して自らノートをとるよう指導している。 (60代, 常勤, 81)</p> <p>・受講済1-2日以内に教科書の該当箇所を精読すること。 (60代, 常勤, 109)</p> <p>・テキストの問題の解答を指示している。 (60代, 常勤, 236)</p> <p>・本の紹介。調査のすすめ。 (60代, 常勤, 331)</p> <p>・予習についてのみ、アサインメントの際留意事項をそのつど指示。 (60代, 常勤, 157)</p> <p>・予習用問題と復習用問題を毎回提出させた。 (60代, 常勤, 219)</p> <p>・レポート提出。 (60代, 常勤, 271)</p> <p>・その日の授業内容のマトメと次週の予告を毎時間伝えています。 (60代, 常勤, 155)</p> <p>・Keep in touch with some form of English study. (60代, 常勤, 428)</p> <p>・学習ノートを作ること(予習及び復習用)・教科書に沿った授業においてはノートを取らないこと。 (60代, 常勤, 90)</p> <p>・公開している教材(パワーポイント)を次回分を見てくださいように指示。 (60代, 常勤, 273)</p> <p>・参考書を読むこと。 (60代, 常勤, 243)</p> <p>・次回～ページまで予習のこと。など。・テキストが時事問題でさいしょの部分に日本語の説明があったので、日本語をよませたりした。さすが関学生で「漢字」がよめた！と思った人もあれば、「漢字」がよめなかった人もいた！みな、日本語の新聞もあまりよんでいないので、日本語の新聞記事を紹介。 (60代, 非常勤, 371)</p> <p>・即答の困難な問題については予め担当者を決めて、熟考された解答を求めている。 (60代, 非常勤, 156)</p> <p>・読書指導をしているが、あまり効果はないかもしれない。 (60代, 非常勤, 189)</p> <p>・Ydrive へ全ての text を載せているので、それをよく読むこと。・商社 business の業種、仕事の具体例を話し、それを更に internet で深読みさせること。</p>	<p>(60代, 非常勤, 51)</p> <p>・1. 配布したプリントの再読(復習) 2. 次回も既配布プリントの持参促進。 (60代, 非常勤, 76)</p> <p>・時間があればテキストをみておくように言っている。 (60代, 非常勤, 175)</p> <p>・授業中、集中して学習すること。試験直前の試験の為の勉強はよくない。 (60代, 非常勤, 192)</p> <p>・テキスト関連箇所指摘 小テスト実施。 (60代, 非常勤, 173)</p> <p>・予習は不要、復習は必要。復習内容を次回の講義で使って更に上級の手法を学ぶので。 (60代, 非常勤, 116)</p> <p>・レジュメを作成して授業内容を予告している。つぎ、講義のスケルトンは手渡しているので予習・復習は容易であるはず。 (60代, 非常勤, 23)</p> <p>・新聞記事の教育面のスクラップ他、教員の在り方良き教師像とは etc…。 (60代, 非常勤, 74)</p> <p>・グループ発表にして予習の範囲を割当てる。・復習については、重要なポイントを示しておく。 (60代, 非常勤, 341)</p> <p>・授業の終了時に、次回まで習得しておくべき箇所の指示。 (60代, 非常勤, 405)</p> <p>・課題、小テスト、期末テストに関して。 (60代, 非常勤, 131)</p> <p>・語学に関しては、辞書、参考書の利用の仕方、講読演習については、参考文献を挙げ、また図書館の活用について指導した。 (60代, 非常勤, 22)</p> <p>・自分の発表箇所をコピーして、全受講生にくばることなど…語学なので、訳の仕方、分からないときの辞典などの利用の仕方などで、説明をする。 (60代, 非常勤, 123)</p> <p>・初修外国語なのでテープなどを何度も繰り返し聴き音のリズムなどになれるよう指導している。 (60代, 非常勤, 121)</p> <p>・担当が外国語なので、必ず一度予習し、理解出来ない単語は調べておくようにと指示。 (60代, 非常勤, 99)</p> <p>・出来る限りレジュメを配布して授業の目的を明確にし予習に役立てるようにした。 (60代, 非常勤, 59)</p> <p>・授業で取り上げた例題や演習問題の解法を完全にマスターすること。教科書中の指示した問題を必ず解くこと。 (60代, 非常勤, 182)</p> <p>・復習は指示しているが、その結果は不明。小テストを何回もおこなう時間的余裕がない。大学院入試を考えると最小限の項目ははずせない。 (60代, 非常勤, 124)</p> <p>・I give both verbal and written instructions. (60代, 非常勤, 415)</p> <p>・最低限、教科書はあらかじめ読んでおくように指示しております。 (60代, 非常勤, 86)</p> <p>・読むべき図書を指示している。(70代以上, 非常勤, 221)</p> <p>・社会学系の学生の、「学び姿勢」については期初、期中、期末の3回申し上げている。・記述式レポートの提出を課して来たが、Webの切り貼りを編集するだけで、自分の意見、表記がないので、この形式は来年度から中止することに決意しました。(残念ですが?)</p>
---	--

- (70代以上, 非常勤, 177)
- ・基礎知識が不足しすぎ。高校レベルの歴史の知識がないため、それを前提とした話ができない。たとえば、世界史の囲い込み運動等について知らない。
- (70代以上, 非常勤, 44)
- ・出席するように注意したこと。(70代以上, 非常勤, 78)
- ・担当科目に関連した、新聞記事などを興味をもって読む習慣を身につけて欲しいなど。
- (70代以上, 非常勤, 47)
- ・グループの話し合いの際、事前予告している。・教職、特に、子ども達の自主、自立の伸長という内容だけに、子ども達の現況、教育諸問題についての関心を奥起し、講義に生かすようにしている。(70代以上, 非常勤, 310)
- ・必ず予習をさせるために、予告なしに授業中に指名、予習の成果を発表させて、それを評価し平常成績とすることを学生に通達している。(成績評価は平常点20点+学期末テスト80点とする)。その結果、ほとんどの学生がきちんと予習してくる。(70代以上, 非常勤, 314)
- ・プレゼンテーションの為に準備他、小テストの為に復習をさせる。(70代以上, 非常勤, 426)
- ・将来役に立つ科目だから教科書に親しんでおくこと。(70代以上, 非常勤, 400)

問10. 本学での教育活動を通してご意見、ご感想等があればお書き下さい。
(143 / 451=31.7%)

- ・締切を過ぎ、申し訳ありません。よろしく申し上げます。(20代, 常勤, 433)
- ・産学連携等の取り組みが活発になるなか、実際の事例(KG内)についての認識を周知させる必要がある。対外的な広報にもきちんと位置づけ、学生の社会参加を促進してはどうか。(20代, 非常勤, 288)
- ・学生の能力差が大きい。入試レベルでの選別ができないのであれば、学力の低い学生に対する何らかのフォローアップが必要ではないか? 1つのクラスの中でも、能力差の大きい学生が混在しているために、指導方法、内容がとても難しいものになっている。(30代, 常勤, 211)
- ・★入試科目をもっと画一化してほしい(授業の前提条件がバラバラで講義がやりにくい。)★もっと必修科目をふやす方向で議論してほしい教養重視=自由選択ではない! 1、2年のうちは”つめ込み教育”にしないと専門教育など無理。(30代, 常勤, 85)
- ・各学部独自の教育方法研究会があってもよい。(30代, 常勤, 216)
- ・学生が素直なので、授業しやすいと感じる。(30代, 非常勤, 101)
- ・語学なので特殊な事例かもしれないが、同じ教科書を使うにもかかわらず、各教員の説明の仕方・文法解釈等が異なるので困る一各教員間の見解統一の必要・各学部で進度・成績評価、1クラスの人数等が異なるのが

- 困る一各学部間の制度統一の必要・本アンケートの主眼である授業評価について、統一式の数値化されたデータはあまり参考になりにくいと思います。これは個人差があるかもしれませんが。(30代, 非常勤, 351)
- ・授業内容を学生が求めているものが合致しているのかいつも気にしながら授業をすすめています。・授業中に学生が感じたことをどのようにフィードバックするかに腐心しています。(30代, 非常勤, 128)
- ・秋学期、総合研究室のアンケートを用いて授業調査をしたところ、自由記述欄に、「このアンケート結果に対して、教師側の今後の改善点も自ら示すべきだ。アンケートの意味がわからない」というものがあつた。現在のアンケート処理のシステムについては、この学生と、同じ意見である。アンケートに対する、教員のレスポンスを示すシステムを総合研究室は考案すべきだと思う。(30代, 非常勤, 190)
- ・英語教育のクラスを他の大学に負けないものに、もっと発展させることができるのではと思います。多くのクラス(特にコミュニケーション中心の英語クラスなど)の規模が大きすぎるのが気になります。(30代, 非常勤, 249)
- ・英語に関して言えばレベル分けをしていないので教員にとっても学生にとっても効率が悪いので残念です。本来伸びる学生が伸びることが難しくもったいないといつも感じます。(30代, 非常勤, 165)
- ・学生がだんだん受身的になっており授業にしてもそれに関連する情報にしても、自ら積極的に動いて情報を得ようとする者が少ない。与えられたままをうのみにするような態度が気になる。そして、逆にこちらから発信する情報が多くなると処理し切れない為か、「自分に向けられたものではない」という態度で話自体を聞こうとしなくなる傾向も有り、困惑させられる事がしばしばある。(30代, 非常勤, 24)
- ・教育学関係の学会などで授業評価の部会に出たりすると、必ず話題になるのが、授業評価を数年続けてはたして本当に教員たちの授業能力が向上したのか、ということです。関学での取り組みは私も非常に参考にしていますが、そろそろ次のステップをお考えでは、と思っております。(30代, 非常勤, 130)
- ・このアンケートのような改善の取り組みが効果的に行われており、気持ちが良い。(30代, 非常勤, 21)
- ・授業のシラバスを全く読まずに、受講している学生が結構な数おり、特に少人数の授業では、無視できず、対応に苦慮することがある。(専門の授業で入門の知識もなく履修している)(30代, 非常勤, 281)
- ・授業評価そのものは、教員が自分の授業方法を振り返る良いきっかけになると思う。しかし、大学では教員の個性、教育内容の違いも認めるべきだと思う。「この先生はすごい・・・」から見ならって下さい、とする方法では、教育が画一化されてしまうように思う。(30代, 非常勤, 441)
- ・情報教育をもっと充実させた方がよいと思います。スキルではなく倫理を教える必要があります。

- (30代,非常勤,321)
- ・総研アンケートは参考になるので、自由参加である限りは有用と思います。ただし、教員がアンケート結果を気にしますと、むしろ害になるでしょう。最近の学生に合わせますと、大学教育ではなくなります。学生に不評でも、大学として押し通す点は大切にしたいです。それから、テスト結果に対する学生からの質問制度は、全く無駄ですので、廃止を望みます。大学は、サービス産業ではないので、「顧客」のクレームは下手に受けると媚につながり、ひいては大学教育の質的低下を増長します。大学としての筋を通すことも、この時代だからこそ必要と思います。(30代,非常勤,35)
 - ・通常の入試合格者と自己推薦やスポーツ推薦で入学してくる学生の能力的な差が激しすぎる。クラス分けを考慮し、能力別クラス編成にしていればと思う。※問9のセミナー等は、すべて不必要だと思います。このようなことは教壇に立つ前にできていなければならないように思います。(30代,非常勤,77)
 - ・テキストレベル、学生の英語力(TOEICスコアなどを)示していただくと、学生のニーズに合った授業ができると思います。テキストは変えられないので深刻な問題です。(30代,非常勤,329)
 - ・日本全体の問題だろうが、単位認定の基準が甘すぎる。入試方式にしても、学生に迎合しすぎである。(30代,非常勤,19)
 - ・博物館や美術館の独立行政法人化やインターネットの普及に見られるように、世の中の趨勢は効率性、採算性を重視する傾向にあります。従って授業においても、実利性や効率性が重視されているように思うのですが、特に人文科学系の授業ではこのような傾向が望ましいとは思えません。人文科学系独自のアドミSSIONナル・ポリシーを確立する必要があると思います。また授業を見ていて思うのですが、インターネット普及の弊害か、学生が授業の討論に主体的に参加しない傾向がひどくなっているように思われます。「自分は授業の受益者ではあるが主体者ではない」という意識が潜在的にあるようです。これは教師側の授業改革も必要ですが、学生側の意識改革も必要だと考えます。(30代,非常勤,302)
 - ・非常勤ですので、大量のコマをこなすだけでも大変なのですが、そういう中であるレベルをキープするだけでも骨が折れます。一時期、その年度だけ荒れたクラスがあり、アンケートで授業の改善とは全く関係のない誹謗・中傷を書かれてしまったことがありました。いろんな授業があり、母数も性格も違うのに、一律に同じデータとしてならべるのは杜撰な気がします。教員へのフォローアップと、もうすこし分野を分けた分析を希望します。(30代,非常勤,132)
 - ・不正行為(盗作、ネット上の文章の丸うつしなど)が目に残ります。個別の教員対応に限界がありますので、基本的なリテラシー教育として、全学的にカリキュラム化することを検討していただきたい。(30代,非常勤,328)

- ・やはり、学生の甘えがもっとも気になります。半期の講義で、何度も異なる学生に自分はなかなか就活で出席できていないが、卒業するにはどうしてもこの授業の単位が必要だと言われました。(担当する講義は毎回の話をしっかり分かなければ後半の話が理解できなくなると言って)復習するようにと求めても、就活を理由にすることが多い。(30代,非常勤,266)
- ・私の担当している授業は、最初から課題を設定して1年間取り組むので、講義というよりは、実践的な研究活動が中心です。私たち以外でも、非常勤講師は割と1年間でメリハリをつけた授業をやっていると思いますが、一方で毎年同じ内容の焼き直しの先生も多いと聞きます。こういう先生たちこそ、若手の授業をよく見るべきだと思いますが・・・。(30代,非常勤,257)
- ・年々、基礎学力が低下していると思われる。しっかりと学生に対して教育を行い、「関学生」として社会へ送り出すことが我々教員の重要な責務であると思っています。(40代,常勤,354)
- ・ほんとうの意味での少人数教育をめざしてほしい。(大人数授業が多い)・教室の施設の整備(全て、マルチメディアの使える教室にするなど)。(40代,常勤,359)
- ・理系と文系で教室の設備が変わっても良いはずなのに文系そのままの教室でやり難い。・授業評価については、理系についてはうまく機能しているか? つみ重ねが必要な学問であるので、ひょこっと受けた授業で”おもしろい”とは思えない。また、自分での学習が必要なのに、それをさせようとすると、厳しく評価されてしまう。文系理系にかかわらず、自ら学ぶことをさせないといけないのに、授業評価によって易しい講義が受け入れられてしまうのは残念である(そうでない、という少数の例を挙げられても、困ります)。(40代,常勤,286)
- ・1. コピーが多い。内容を理解せずにコピーしている。2. 授業に遅れる学生が多い。欠席しても穴埋めをしていない。3. スキル、心がまえが低い。一方で学生のレベルにあった内容を全ての授業で提供しているのか不明。カリキュラムとFDの連動が必要だが、どこから手をつければいいかは、手探り状態。事例紹介を期待している。(40代,常勤,37)
- ・いく度か、授業評価をしているが、受講生数、必修か否か、教室の室等、教員側の努力ではどうしようもないことへの批判が多く感じます。教室の充実、等々、学生が求めているものに、財政的支援が不可欠と思われる。(40代,常勤,168)
- ・学生による授業評価結果は原則的に(せめて学内には)公開すべきものと考えます。せめて貴研究室にて実施されるアンケートの結果は、事前の教員による承諾を求めて公開されてはいいかがか。(40代,常勤,92)
- ・教育活動を充実とするために、行政的な活動を減らしたり、あるいは、教育と結びつく研究活動を充実させるとよいかと思えます。具体的には、会合を減らすことを提案します。(40代,常勤,12)
- ・語学について ペアによる授業が時にやりにくいと感

- じることがあった。十分な準備期間があれば問題ないのだろうが、ベアの先生の教育方針と自分の教育方針についてコンセンサスがとれないまま授業に突入することになる。学期中メールでのやりとりで意思疎通をはかってなんとかしてきたが授業に一貫性をもたせるのはむづかしい。(40代,常勤,217)
- ・今年度受講生数のわりに教室が小さかったのが気になりました。授業方法以前の問題だと思います。「環境」面の調査項目も必要ではないでしょうか。(40代,常勤,213)
 - ・授業内容の充実を目的に上記問8のようなワークショップ等を、非常勤職員対象に開催していただきたいと思えます。(40代,常勤,199)
 - ・出席管理の機械化(具体的ですが、成績評価や動機づけのコントロールに有効かつ、実現可能性も高いのでぜひ、何らかの形で導入を)。(40代,常勤,388)
 - ・セミナーや研究会に参加する時間がありません。そのまま使えるレポート・パワーポイントなどの素材アイデア、テーマ、ツールなど提供いただけるとありがたいです。(40代,常勤,162)
 - ・創意工夫ある授業に対するサポートがなされていないことを痛感している。窓口提案をすると、「予算がない」「うちはサービス機関ではない」という回答が戻ってくる。この大学は、改善の機会を自ら摘んでいることを、当局者は自覚してほしい。(40代,常勤,4)
 - ・偏差値の高い学生が集っているので、特に問題はないと思います。(ちなみに私のところは全学科45以下ですから、毎日苦勞しております。)(40代,常勤,287)
 - ・毎年、全教員(非常勤も含む)に対して授業評価アンケートを義務として実施すべき。(40代,常勤,429)
 - ・100人以上の授業を毎年担当しているが、TAがつかないのは困る。本務校ではクラスサイズに関わらずほぼすべての授業にTA(大学院生)がついて授業の補助をしてくれる。TAがつかないのであればクラスサイズを30~50人以下におさえるべきである。(40代,非常勤,323)
 - ・"As I mentioned before,for conversation skills and (mini) group exercises,movable tables are more convenient.Could I use such a room,please? I did many good experiences in team teaching and in the interaction with students,especially in doing ""German parties"",at 関西学院大学 or at home. Some of my students (not many) are exhausted,because they do too much ""jobbing"". Altogether,I did good progress in teaching and the students did good progress in studying (since 2001). どうもありがとうございます。どうぞ宜しく御願致します。"(40代,非常勤,139)
 - ・B号館の機器が整った教室が非常にありがたいです。パワーポイント、OHP、PC、ビデオ、すべて使用しました。話して板書だけでは伝えられない視覚への情報を伝えることができました。(40代,非常勤,417)
 - ・FDなども重要とは考えるが、まず一コマ(一クラス)

- あたりの受講生の数を40人以下にするなどの取り組みを優先すべきではないか?(40代,非常勤,418)
- ・FDに熱心に取り組まれている貴学を、いつもうらましく、また敬意を感じながらみております。こうしたスタッフ機関の充実が私共の大学にも必要と思えますが予算問題で言うは易し、です。(40代,非常勤,268)
 - ・いろいろありがとうございました。またのご指導を宜しくお願いします。(40代,非常勤,409)
 - ・上にも書いたが、他の先生の授業を見れる機会を増やしてほしい。とくに学生からの評価が高かった授業についてはそうしてほしい。(40代,非常勤,299)
 - ・学生のモラルが毎年下がり、不正行為をはたらく学生が増えているのが、非常に残念です。授業評価項目が表面的で、授業のどの部分が実際に有効であり、又は改善を求められているのかが具体的にわかりづらくなっているので、改善が望まれます。(40代,非常勤,291)
 - ・形式的な民主主義は、社会的資源の浪費をもたらすため、真の教育を遂行するならば、独創的な人材育成法を樹立すべきである。(40代,非常勤,143)
 - ・講義の仕方よりも講師の熱意・情熱の方が大切なのは?(40代,非常勤,181)
 - ・語学の授業、特にBの授業を少人数にしてほしい。(40代,非常勤,416)
 - ・語学の授業で黒板が小さい教室はなんとかしてほしい。(40代,非常勤,377)
 - ・語学の授業は学生の人数が大きすぎます。各語学の部長はネイティブスピーカーに任せたいほうがいいです。非常勤講師を専任講師にしたほうがいいです。(40代,非常勤,353)
 - ・最後の授業のとき、「留学していました(授業に来たことがない)」と当然のように単位を要求する学生が現れて驚いた。他にも半期で1~2回しか出席していない学生が堂々と試験を受けようとする。勤務先では「欠席時数」が「全授業時数」の「3分の1を超える者」には試験もしないし、単位も与えないとの規程があるが、貴学にはないと説明された。1度も授業に来たことのない学生が試験を受けられる制度はいかがなものだろうか。(40代,非常勤,238)
 - ・昨年からの講義でした。Webシステムで授業評価を行いました参加学生は5名でした。今年もっと参加学生がふえるように考えたいと思えます。(40代,非常勤,378)
 - ・授業に関する基本方針などのコンセプトを専任教員から説明会などを開催してもらえればありがたい。全てこういう文書のみで伝達が来るのでKGの教育理念の顔が見えて来ない。特に週に1回しか行かない非常勤にとっては!!(40代,非常勤,107)
 - ・担当している科目(複数合併でもよいので)ごとの集まりが、専任の先生のコーディネイトで年1回くらいあればよいと思うのですが。(40代,非常勤,438)
 - ・テストの成績に対する学生の執着が近年強くなってきたと思う。(40代,非常勤,56)

- ・どの大学でもそうだと思うが、教育の評価をきちんとしているかどうか、という要請に応えるために「教育活動」が考察されているように思える。平均点や偏差値で学力が測定されるように、平均点や偏差値で教育力も測れると妄信しているからに他ならない、と思うが、他方どうしたら良いか、はよくわからない。自分の授業を反省する以外にないか…。(40代,非常勤,135)
- ・なんとなく Web 上の学生評価がとっつきにくかったのですが、今年から取りくんでみようと思っています。(40代,非常勤,134)
- ・パワポなど、視聴覚的プレゼン重視しすぎると、あとに残らないものが多いとも感じる。印刷されたレジュメ配布なども行うことが必要と思うそういうことも評価してほしいと思う。(40代,非常勤,376)
- ・ハンドブックをつくって頂き、とても役立っています。(40代,非常勤,106)
- ・非常勤講師としてあちこちの大学に行っており、色々なタイプの学生を相手にしています。その中で強く感じるのは、関学の学生は勉強態度、理解力などの面で<教えやすい>人たちであるということです。学生の質の高さに甘えることなく、教師としての技術向上に努めなければ、と日々思っております。(40代,非常勤,100)
- ・評価制度は良いと思いますが、教員相互の授業参観などは必要ないと思います。評価を気にしすぎて思い切った授業ができないこともあります。例えば、学生によっては、少し先生が厳しいというだけで、評価を低くする学生もいます。今の程度の四年に一回ぐらいの調査でいいと思います。(40代,非常勤,43)
- ・普通に座って、普通に授業を聞くことができ、あさましいうそを言わない普通の学生が入学できるようにして下さい。(40代,非常勤,346)
- ・本学の卒業生ですので、自分の学部時代と比べても、特に今の学生の質が落ちているという印象はありません。私語する学生はかなり以前からいましたし。ただ、そつなく、ムダなく、効率的に成績や単位を稼ごうという傾向が強くなったかな、という印象はあります。詳しく説明できませんが、教員や学生の質の問題というより、「教育＝サービス業」という認識の副作用だと感じています。(40代,非常勤,120)
- ・理工系の基礎科目を教えています(物理)高校で物理をとっていない学生と、とっている学生とのギャップが大きいに感じます。理解度によりクラス分けをした方が教育効果が上がる可能性があると考えます。(40代,非常勤,312)
- ・私の場合、(特殊なのかもしれませんが)、KG での授業のみがセメスター制ですので、12、3回の授業回数では、やはり、深い内容まで踏み込んでの授業になりにくい。専攻外の学生も数多く受講しているので、専門用語を使つての講義がむずかしく、ようやく慣れてきた頃に半期が終わってしまう。学生も、そつなくこなして、単位を取れば良いと思っているのか、質問などもほとんどなく、深く掘り下げたい、という態度が見られない。

- ・受講態度は総じて良く、試験の結果も悪くないだけに、少し物足りなさを感じる。(40代,非常勤,144)
- ・私は最近まで博士課程後期に在籍していたのでこのアンケートはてっきり、元学生の身分でのFDに関する質問だと思った。しかし教員としてだとわかりました。FDは重要だと思います。大学教員のbottom lineは何なのか?学内の役は「雑用」とよび仕事と認識していない。研究は「雑用」のためできないという、学生指導は…?結局何を最低すれば教員としての役割を果たすのか?他業種の社会人からすればあきれることが多い。(40代,非常勤,308)
- ・Webの評価システムと紙ベースの調査で1,2,3,4,5の左右が一致しないのはまずい。アンケートは平均値だけでなく分散(あるいは分布そのもののエクセルファイル)を知りたい。アーチファクト(特異データ)の除去なしで、単純平均値を出すのは危険。◎アンケート評価値を上げるには授業のレベルを絞って、そのレベルの学生を集め、満足度を高めればよいが、全くもって本末転倒だと思います。アンケート評価値が下がっても、幅広い学力及び意欲レベルの学生に対応できる教育を行っていききたい。(50代,常勤,203)
- ・ありすぎてとっさに書けないというところです。教員相互の授業参観は絶対に必要。教育方法についての支援体制がほとんど機能していない(とくに情報関係)。何らかの形で個人的技術を集約してマニュアル化。(50代,常勤,234)
- ・1. 教員の自主性に任せすぎている 2. 授業用資料の共有化がされていない 3. 教員同士の授業内容についての詳細な意見交換の場がない。(50代,常勤,198)
- ・IT化が進んでいるにもかかわらず、教室が対応できていない。例えばスクリーンが中央に1幕しかない場合、黒板と併用できない。必ず2幕は要する(一方を投写、一方を黒板として交互に使う)。(50代,常勤,125)
- ・英語はレベルチェックをして能力別のクラスにした方がよい。(50代,常勤,356)
- ・学生が授業アンケートに慣れきっていて、何も書かないままか、教員へのうっぷんを晴らす手段となっている場合がある。こんな場合アンケートの結果など無意味だろう。(50代,常勤,207)
- ・学生の意見を聞く態度は必要であるが、時には都合の良いことを言う学生もあり、すべてに迎合することは避けるべきであると思う。(50代,常勤,449)
- ・学生のレベルは二極化からさらに全般的低下に向かっていると思われる。授業のレベルを保ちつつ学生の満足度をも保つのがむずかしくなっていると感じる。(50代,常勤,343)
- ・教員が自分のやり方で教えることができるのが長所。教科書を指定したり、授業のやり方を統一しようとする力が働くや否や崩壊が起こる例を見てきている。学生の質や数を見て臨機応変に対応できる柔軟さを持つことが教師に求められるし、大学の組織としては教師を信じるが必要である。如何なる場合(ケース)にも有効(対応できる)な教授法など存在しない。相手

- によって変わるものである。(50代,常勤,13)
- ・教務部と総研が実施して、教員にとっては何が何やらよく分からない。授業開始前のシラバス作成から、成績評価後のこのようなアンケートに至るまで、各部署がバラバラに連絡してくるので困る。Web上でチェックリストを用意して書き込めるようにし、各部署はそこから必要な情報を取るようになってほしい。推薦図書等も含めて。(50代,常勤,325)
 - ・現在の「授業調査」は形骸化しているように思えます。教師側に対するよりも、学生側に対する何かを考えられるべきではないでしょうか。(50代,常勤,196)
 - ・講義科目の受講生数をせめて200人以下にする工夫をしてほしい。(50代,常勤,148)
 - ・司法研究科に対するアンケートとしてはもの足りないと同時に回答しづらい。(50代,常勤,45)
 - ・社会学科における数理/情報処理教育がほとんどできていない。多くは中学生レベルの数学能力しかない。大学院においても同様と思われる。(50代,常勤,320)
 - ・本学に限られたことではないと思うが、問いと答えをセットで簡単に教えてもらおうとする態度が気になる。社会科学では、問いそのものを問うことが大事で、そのことが分かっていないと、議論が少しも深まらないし、ひと筋縄ではいかない複雑な社会の問題に立ち向かっていくための知性も養われない。パッケージ化された知識の習得では生きる力につながらないことを、どうにかして学んでもらいたいと、思う。長らく実務に携わってきた者の実感として、まさに実践的な要求として、その課題意識が強い。(50代,常勤,27)
 - ・LL教室の数が不足。・語学(特にコミュニケーション)のクラスの人数が多すぎる。(30人以下にすべき)・語学専攻以外の学生にも必須以外(基礎クラス)の語学教育の機会(TOEFL,TOEIC講座、中級、上級のリーディング、リスニング、ライティング、スピーチなど実用的なものも含めて)を広く与えてあげるべきです。(インテンシブの資格を与えられた学生に限らず)(50代,非常勤,345)
 - ・語学に関して学生に聞くと、リスニングアップの要望が多いです。・今、一番気になるのは受験しないで入学している学生の英語力、(体育系の推薦など)別のクラスを作った方がいいのかもしれませんが。体育系のコーチや先輩からのまちがった情報を信じて、何とかしてもらえてあたりまえと思っている学生が多いです。(50代,非常勤,48)
 - ・アンケートの質問の出し方に問題を感じます。物を売る商売ではなく、教育なので、まだ未熟な学生の望みに迎合してしまう傾向が出れば、大学教育にひずみが出てしまうと思います。質問の設定は、科目によって変え、もっと細かくする必要があります。その内容は、教師間で話合う必要があると思います。知識だけでなく、よりよい人間形成のために。それを踏まえた上で、学生参加の授業をしていけば、より実り多いものになると思います。(50代,非常勤,313)
 - ・ウェブでの講義、ネットの更なる活用を希望します。

- (50代,非常勤,246)
- ・学生の回答を「記名」制にすべきだと考える。(50代,非常勤,363)
 - ・学部間、組織間の連携が良くない。教務にお願いしたが例えば他学部にあるPC室を使わざるを得ない授業が発生し、事前にそこに行って準備しようとしたが協力が得られなかったり、あからさまに「他学部の為にそこまでのサポートは出来ない」と事務の方に言われたりしたことがある。同じ関学という名のもと、誰の為の教育かと失望した。(50代,非常勤,164)
 - ・教員の知れない情報を得たい。例外的な学生、教師の情報より最も多数派の流れを知りたい。そのための情報。統計等を。以上。(50代,非常勤,435)
 - ・自分の授業に対する学生の関心度の度合いについて多少計りかねているところがある。つまり、学生が何に関心をもっているのか把握しきれてないため、毎年授業のテーマ設定に多少迷う。(50代,非常勤,39)
 - ・週1回1コマの授業なのではっきりとはわかりませんが、本務校にくらべて、とても授業がやり易いとの感想をもっております。(50代,非常勤,79)
 - ・自由記述式の調査の方が直接伝わるように思われます。(50代,非常勤,239)
 - ・授業に関し、自由に意見を言う雰囲気は出てきましたが、その分、かなり勝手な意見もあります。若い方々に授業内容だけでなく、それなりの人に対して使ってよい言葉とそうでないものを教えなくてはいけない場面も出てきています。めったにありませんが、教育とはそういうものなのでしょう。反面、私自身が行動を通じて、人に対して誠実に接することを見せなくてはならない、プレッシャーも感じています。(50代,非常勤,440)
 - ・授業の目的や方法をよく理解して、熱心に受講してくれる学生が多いことに満足している。(50代,非常勤,394)
 - ・数年前使用した同レベルのテキスト・あるいは練習問題などは全く使えない。特別推薦で入学した学生がクラスに1~2名の時は、彼らも授業についていけなくても態度は悪くなかったが、最近は推薦で入学した学生数がかなりの数にのぼり、授業中の態度が悪く、クラス全体にだらしない雰囲気蔓延してきた。遅刻・早退・私語も以前とは比較にならないほど増化している。そのための対策にエネルギーをとられるし、学期の初めに決めたルールを守らずごり押ししてくる学生もあるので、つまらないことで不愉快な思いをすることがある。学習以前の基本的な生活習慣の問題が大きい。◎一般入試では合格できない学生が推薦で入ってきて、彼らは「関学」というブランドを手に入れたことに満足しているように思う。◎一般入試で入学した学生のうちどれぐらいの学生が「関学」を第一志望としていたのか?よってここ2~3年の学生はおとなしく意欲に欠け若者らしい深刺さ・熱さを感じない。◎一クラスの人数が多すぎる。今のままではレベルの低い学生に合わざるを得ないので、「これが大学の授業か」と思ってしまう。(50代,非常勤,137)
 - ・スポーツ推薦等で入ってきた学生が他の学生と同じ授

業をうけているのは気の毒な気がする。

(50代,非常勤,163)

- ・大学生の学力低下の中で、もう少し厳しく教える姿勢が必要。(50代,非常勤,8)
- ・担当している科目の学生は大変もの静かで大人しい。学習内容についてもっと積極的に取り組むことを期待したいが、そのための教授法をもっと学びたい。(50代,非常勤,147)
- ・本学学生は、自主学習意欲を持っているので、授業としては比較的やり易いと思います。しかしながらスポーツ推薦等で入学した学生との学力差が著しいため授業の進め方等が少し難しく感じています。(50代,非常勤,421)
- ・もっと教員間との話し合いの場を。(非常勤の場合、ほとんど交流がない)(50代,非常勤,419)
- ・よい職場環境です。(50代,非常勤,204)
- ・楽をして単位をもらえる先生の授業を高く評価する傾向があるように思える。(50代,非常勤,53)
- ・私個人は、授業にはまじめに取り組み、学生へのサーヴィス業と考えている。授業の大切は充分理解しているし、そのことを大切に考えておられることも納得できる。しかし、そうなるとすぐに、授業の研修やチェック等という方向へとおさまりのように進むことに対しては反対である。私は学生に対して、熱い思いを持っている。その心の関係をマニュアルにしていく方法は、関係性を機械化していくことになる。今のように学生からの評価をつきつけられて、教員が努力していく方がベストである。もし、マイナスがつきつけられたなら、その教員へのアドバイスという方向性がまずやるべきことではないかと思う。学生にブーイングがあっても、続けていること、そのことをどう修正すればよいかを先生に提示し、共に考えていくサポートが最も大切だと思う。(50代,非常勤,282)
- ・学生の基礎的な知識力の低下を感じるが、現在の大学生として修得していなければならない規準点までの知識を提供する方法など必要ではないか、と考えるが…。(60代,6,123)
- ・"No comments seem to be necessary. The great majority of students in my experience are exemplary"(60代,常勤,428)
- ・一方的な講義形式には長年の勤が働いて絶対的に自信があるが…。ただ討論とか双方向と言われると大の難手。学生たちの意見を聞くのが、どうもまどろっこしくて…。つい当方から口を出し結果は一方的にしゃべりまくってしまうようで…反省はしとるのですが…。(60代,常勤,81)
- ・学生が熱心にするかどうかは教官次第だということを強く感じています。(60代,常勤,194)
- ・現在の教育の危機やあり方について認識を共有化する場が全くないこと。(60代,常勤,42)
- ・コアとなる科目については少人数教育を行い、国際レベルの学力を全修了生が持てるように教育することが大切と考えている。(60代,常勤,68)

- ・授業の進め方について教員同士が話し合うことが日常的に行われるようになってきているのは好ましい。(60代,常勤,57)
- ・大学全体については特にないが、あえて言えばゼミ関係の指導に関する必要な経費の予算が不十分である。(60代,常勤,361)
- ・入学にも全く苦勞することなく、自分のできる範囲でズルズルを生活して来た。知識はすべて完結しているもので、教師はすべてを知っていると思っている。小・中学の授業以上の講義は理解できないでいる。受け身で、講義でここから先は未解決だとその先の研究へのアドバイスを教師の準備不足とをらえる。情けない。本学ではじめて体験した。(60代,常勤,220)
- ・本アンケートは学部対象のものと考えて記入しましたが、院の授業や指導も人数がいますので、負担に感じることもあり、切り離しては考えられませんが、一緒のアンケートをやるべきだと考えます。受講生が100人前後になると毎時間出席をとる場合、記帳など整理が負担です。何らかのサポート(できれば出欠の記帳)があればいつも思います。(60代,常勤,150)
- ・本学における授業評価やFDは日本の他大学と共通する平均的なものですが、アンケートを通じて、教育に関する立体図を提示するという教育統計の在り方から、かなり外れていると思います。教室の規模、教科書の選定、授業出席へのモチベーション、教員のプレゼンテーション、授業の成果などから、10分以内で答えられるようにアンケート項目を作成し、数量(5段階評価)によって評価を行うべきと考えます。自由記述は本質的に必要がなく、学生と教員の関係だけでなく、設備・教育環境などを含めた関学の教育にフィード・バックできるような在り方を探る方向で考えてみるべきです。貴教育研究室には、そのような専門家は居られるのでしょうか。学生サービスを主とした教員の自主努力を喚起するという、現在の方法では不十分だと考えます。(60代,常勤,90)
- ・(他大学の経験も含めますと)成績評価の良い者は、授業に対する評価が高く、良くない者は、授業評価が悪い様に思います。つまり授業の理解度、熱心さの程度により、それが悪い学生は授業に対して文句も多くなります。授業評価の良否は、学生自身の成績の良否とある程度の相関関係があることを、経験上感じています。(良く出来るクラスは、文句など出ません。)(60代,非常勤,405)
- ・①授業そのものは個々人の工夫が大切と思われ、他の方のそれはあまり参考にならない。とくに、1回だけ見せたり、見たりするものは、ショー化して意味がない。それに対して、機器の利用法などは、ぜひ相談ないし講習の機会がほしい。②カリキュラムの全体像が教員に、周知されることが望ましい。非常勤の者にとっては、自分の授業の位置づけがわかりにくい。(関学だけではありません。どこでもそうだと思います。)(60代,非常勤,189)

- ・①授業の大きな目的を明示して学問への心構えを植えつけさせる事が重用だと気付いた②授業の中で、学問への感動を与える事(感性の喚起)が、motivationにつながると思いついた。感性は理性を誘導すると思える。(60代,非常勤,76)
- ・2006年度開講された授業であり、今後さらに充実を計っていきたい。その中で課題等が出てくれば御指導宜しくお願いします。(60代,非常勤,201)
- ・Mastery for Service をもっと強調し、担当科目においてどのような角度から関連させメッセージを發するかを問うことがよいと思える。(60代,非常勤,173)
- ・いろいろ、問われましたが、1,2年生を相手に外国語(第Ⅱ)をやっている関係で、(6月頃)暑さでグッタリしている、眠ってばかりいる、寢息をひびかせているような学生と一方やる気のある学生の混在したクラス...でも、やはり、試験の前になると、みんな単位がとりたいので、少し、活性化する。そういう中で、苦労しつつ、やっているのが現状です。約25人中何人かは、やる気のある学生がいるので、何と言ってもまだまだ、みこみがあります。あれこれ、必要以上の研修などすることもない気がします。母校がICUだったのでみな活発でしたが、まあ数人は、しっかりしている人がいます。(60代,非常勤,371)
- ・貴大学の学生は真面目でおとなしいと感じている。出席票に書かれる comments、質問等を見ても、優れた反応を示すものも多々あり、概ね真面目に書いている。(60代,非常勤,51)
- ・教育のための研修等の強化が必要。(60代,非常勤,7)
- ・教員が「テクニク」を必要とするのですか。講義内容(見識、理論等)がすべてだと思っています。それより、教育と学生の接点(議論など)があまりにも少ないので驚いています。大学の授業は Discussion の積み重ねだと思っていたのですが。(60代,非常勤,23)
- ・教職課程の指導をしています。FD の調査に1回応じましたが、その結果がどう生かされているか解りません。その後は学生から授業改善(私の授業法について)の意見や感想を A4判1ページ分書いてもらってます。授業に関しては目標をもっているんで、大変熱心です。学校現場に就職した人は今もいろいろ連絡してきています。(60代,非常勤,292)
- ・研究と教育は一体であるから、研究していない教師は(非常勤も含めて)やめて貰ったほうが良い。(60代,非常勤,192)
- ・午後からの授業なので寝てる人がいる!質問が余らないのが残念である。学生達に何の為に勉強するのか根本的な事を入学の折、又、先生方が教えられる事が大事です。学生達の質が変わると思います。つまり校風です!!余り感じられなかったで。(60代,非常勤,205)
- ・自分の成功例を話す機会があれば紹介したい。(60代,非常勤,146)
- ・授業調査を実施して教員側の授業の質を高めることは必要だと思うが、「わかりやすく」「丁寧に」「やさしく」などという面ばかりが強調され、要求される傾向にあ

- り、それは、このあとすぐ社会にでることになる学生の益にならないばかりか、マイナスになっているのではと危惧している。(60代,非常勤,341)
- ・生徒に対しては、それなりに将来に向けて、自分で考える習性を身につけさせていると思う。唯、非常勤講師に対し、報酬の額はともかくとして職員等の接触、連絡の仕方が民間の優良会社と比較すれば極めて低レベルと感じる。大学も外に向かってある存在である。非常勤講師に対しても「礼を失わないように」されたい。(60代,非常勤,340)
- ・非常勤であり、受講学生数の多い授業であるため、講演会にならないように配慮しているが、学生の意識との間にズレがあるように感じている。(60代,非常勤,296)
- ・非常勤としての制約をできる限り、学生諸君に意識させないように指導している。(60代,非常勤,22)
- ・必須など主要な科目に対しては非常に頑張っていると思うが、選択科目に関しては、授業中に内職等をしている。例えば、実験実習のレポート等締め切りのあるものの作成に時間を使っているようだ。(60代,非常勤,124)
- ・毎年250人以上の講義で学生との対話とか、学生の顔が全く見えないので100人程度を限度するように配慮してほしい。250人以上ですと出席をきちんと取るならば20~30分ぐらいかかります。したがって前から配りますので1人で数名を書くような不正行為が生じてます(すなわち代返です)。(60代,非常勤,294)
- ・まじめな学生が多い様に思われます。授業中の私語は注意をすれば静かに講義を聞く。(60代,非常勤,175)
- ・学生の出席率(履修登録者数に対する)が非常に悪い。本人の問題があるが、学生の質が徐々に落ちて来ている。・記述式期末レポートを課したら、同じ部活メンバーと思われる10数人が殆ど同文のレポートを出していた事例を発見した。よく出来ている内容であったが、全部60点(レポート採点)にした。これも学生の質の問題だ。どうしようもない!(70代,非常勤,177)
- ・学生の授業態度が気になる。全学的に指導の必要性を感じる。(例、授業前後にあいさつしても、応答がない、携帯、ボトルなどの飲食物、資料等放置するなど)(70代,非常勤,310)
- ・基礎的な学力不足を感じるのと、とに角出席第一と考える。(70代,非常勤,78)
- ・最近の学生は講義に加えて視聴覚的な方法を求める者が多い。(70代,非常勤,20)
- ・スポーツ推薦で入学してきた学生の語学力(英語)が極端に低いのをそのまま単位認定すべきかどうかいつも悩まされる。その扱い方について大学の方針を明確にしていただけならありがたいと思う。(70代,非常勤,314)
- ・二極化(いわゆる出来る学生と出来ない学生)が進んでいる(20年以上講義)ように思える。特に出来ない学生が多くなっているように思えて残念である。(70代,非常勤,357)

付録2. アンケート協力願い

2007年3月9日

授業担当者各位

総合教育研究室
FDと高等教育プロジェクト
主任研究員 山田 真裕

アンケート協力をお願い

平素は総合教育研究室「FDと高等教育研究プロジェクト」の活動にご理解とご支援を賜り、感謝いたしております。

近年、各大学では大学改革の進展にともなって、授業計画の公表や授業改善等の取り組みが組織的な形で進められています。本学でも2005年度に教務部による統一形式の授業調査が実施されました。

当研究プロジェクトでは、大学教育に関する諸問題について研究を続けてきました。「授業に関する調査」については1992年からテーマとして取り上げ、その実施と参加された先生方へその結果の妥当性と活用に関するアンケートを実施してきました。しかし本研究の性質上、ご協力を頂いている先生方は、「学生の意見に妥当性を認める」方に偏る結果となっております。前年度の統一形式ではほぼ全ての授業担当者が同じ条件で調査を実施された事を機にこれらの妥当性と活用の有用性について、より多くの授業担当者の方々のご意見をお聞きしたいと考えアンケートを企画いたしました。

なお、このアンケートの結果は、当プロジェクトで集計して全体の統計の形で公表いたしますので、決して個人的にご迷惑をおかけすることはございません。また、自由記述の部分も個人が特定されるような情報は省略する形で先生方の生のご意見として当研究室のジャーナルで公表させていただく予定です。

お忙しい事とは存じますが、上記のアンケートの趣旨をご理解いただき、3月23日（金）までにご返送下さいますようお願い申し上げます。

返送期限	2007年3月23日（金）
提出方法	同封の返信用封筒をご利用下さい。
問い合わせ先	〒662-8501 西宮市上ヶ原 1-1-155 関西学院大学総合教育研究室 Tel：0798-54-6128 Fax：0798-54-6463 e-mail：soken@kwansei.ac.jp

付録3. 調査票

「授業調査」について

最初にご自身のことについてお伺いします。次の項目について、該当する番号を○で囲み、「その他」を選択された場合は()内にもご記入下さい。

- I. 性別
 - 1. 男性
 - 2. 女性
- II. 年齢
 - 1. 20代
 - 2. 30代
 - 3. 40代
 - 4. 50代
 - 5. 60代
 - 6. 70代以上
- III. 研究分野
 - 1. 人文科学系
 - 2. 社会科学系
 - 3. 教育学系
 - 4. 外国語系
 - 6. 理学系
 - 7. 工学系
 - 8. その他()
- IV. 職名(本務校のある方は「5. 非常勤」に加えて本務校での職名に○をつけて下さい。)
 - 1. 教授
 - 2. 助教授(准教授)
 - 3. 専任講師
 - 4. 助手
 - 5. 非常勤
 - 6. その他()
- V. 教育歴
 - 1. 5年未満
 - 2. 5～10年未満
 - 3. 10～20年未満
 - 4. 20～30年未満
 - 5. 30年以上
- VI. あなたが現在「**本学の学部**」で担当の週あたりのコマ数をお答え下さい。(講義、実習、演習等を含みます。)

登録学生数	1～9人	10～25人	26～50人	51～100人	101～200人	201人以上
コマ数						

←学部での授業を担当されていない方は、こちらにチェックして次ページ以降には回答せずに返送して頂ければ幸いです。

問1. 昨年度(2005年度)の教務部が主催した「全学一斉授業調査」に参加されましたか?

- 1. 参加した
- 2. 参加していない → **次ページの問3へお進みください**

問2. 「全学一斉授業調査」へ参加された方にお伺いします。

- 2. 1. 質問項目の結果は納得できるものでしたか?
 - ・ 納得できる
 - ・ まあ納得できる
 - ・ どちらともいえない
 - ・ あまり納得できない
 - ・ 納得できない
- 2. 2. 自由記述の内容は納得できるものでしたか?
 - ・ 納得できる
 - ・ まあ納得できる
 - ・ どちらともいえない
 - ・ あまり納得できない
 - ・ 納得できない
- 2. 3. 質問項目の結果は次学期の参考になるものでしたか?
 - ・ 参考になる
 - ・ まあ参考になる
 - ・ どちらともいえない
 - ・ あまり参考にならない
 - ・ 参考にならない
- 2. 4. 自由記述の内容は次学期の参考になるものでしたか?
 - ・ 参考になる
 - ・ まあ参考になる
 - ・ どちらともいえない
 - ・ あまり参考にならない
 - ・ 参考にならない
- 2. 5. 一斉調査の結果から、今年度(2006年度)の授業を行うにあたって意識された点がありましたらお書き下さい。
 - ・ 参考になる
 - ・ まあ参考になる
 - ・ どちらともいえない
 - ・ あまり参考にならない
 - ・ 参考にならない

2. 6. Webで公開されている全体平均、学部毎科目種別平均等の結果にアクセスされた事はありますか?

- 1. ある
- 2. ない

問3. あなたは今年度(2006年度)に担当されている学部の授業で「学生による授業評価」を実施されましたか?

- 1. 全ての科目において実施した
- 2. 科目を選んで実施した
- 3. まったく実施しなかった

問5へ

問4. 上の問3で“2”または“3”と回答された方に伺います。実施しなかったのはなぜですか?

- 1. 授業の進行上時間がとれなかったから
- 2. 2005年度に同じ科目で実施したので必要がないと考えたから
- 3. 「学生による授業評価」には信頼・妥当性がないと考えるから
- 4. 少人数のクラスなので必要ないと考えたから
- 5. 学期の授業を通して学生に感想や質問を書かせてそれをフィードバックしているのだから
特に必要ないと思ったから
- 6. 授業の準備がうまく出来なかったから
- 7. 報告が義務付けられているのは1教科だけだから
- 8. その他 ()

上の問3で“1”または“2”と回答された方に伺います。

問5. どの方法で実施されましたか。(いくつでも)

- 1. 総合教育研究室が行っている調査を利用した
- 2. 教務部の提供しているWeb上の評価システムを利用した
- 3. 学部で統一したフォームを利用した
- 4. 独自のフォームを用いて調査した
- 5. その他 ()

問6. 2005年度の結果と比べて今年度の結果はどうでしたか? (2005年度に実施された方のみ)

問7. ご担当の科目において、受講生に対して予習・復習の仕方について、なんらかの具体的な指示をされていますか。

- 1. はい →具体的に教えてください(自由記述)

- 2. いいえ

問8. 以下の活動を必要だと思えますか?それそれについてお答え下さい。

	是非必要	あった方がよい	必要ない
1. 教員へのコンサルティング・サポート	2.....1.....0		
2. 教員相互の授業参観	2.....1.....0		
3. 教員による教育研究会	2.....1.....0		
4. ユニークな授業をされている方の事例紹介	2.....1.....0		
5. 授業方法に関するワークショップ	2.....1.....0		
6. パワーポイントなどの講習会	2.....1.....0		
7. 機器利用に関するワークショップ	2.....1.....0		

問9. 次の中に出席したいセミナーや研究会のテーマがありましたら該当するものすべてに○を付けて下さい。

- 1. 講義方法
- 2. 成績評価の仕方
- 3. 学生指導の方法
- 4. テスト問題の作成
- 5. 討論の技法
- 6. 教員と学生の関係
- 7. 大学・高等教育論
- 8. 卒業論文の指導
- 9. TAとの関係
- 10. ハラスメント研修
- 11. その他 ()

問10. 本学での教育活動を通してご意見、ご感想等があればお書き下さい。